

型上田高等学校同窓会関東支部会報

的である。総会から大パーテ ィーへと、集まりは同じ順序 尽すのが年次総会の大きな目 いの健康を喜び、一夕の歓を

ず、継続審議となった。

林、伊那北各高校の東京同窓

えて下さっ

パーティの模

もの通り全員手をつないだ友

花岡副支部長が入院

副支部長花岡係氏が循環界

情の輪で別れを惜しんで散会

独立新設問題は今年も機熟せ

タしぶりに顔を合わせ、互

で進んだ。

総会は例年のように過去一

四十分から始まった。大ホー

第30号 12月1日

(木曜日) 昭和58年 (1983年) **一季利**一

発 行 所 H田高等学校同窓会 関東支部・事務局 発行人

90周年1月 (31) 会報委員長清水幾男(38) 〒336 埼玉県川口市並木 2-11-20矢島綺工㈱内 電話 0482-53-2662代 題字は故稲垣征夫氏(14)

# **特間の支部活動と会計の報告** ルにつどう者、 新卒の招待ル

トを告げる乾杯 -大饗宴のスタ 大会写真は3面にも

送を無事に終えたときのよう 成、そして同窓生諸氏への発 個集途上での焦燥や苦臓、 特に深いものがある。 みて、編集委員一回の感慨も れてきたことになる。かえり 春秋二回の会報発行が持続さ の創刊号から十五年間に及ぶ ることで、昭和四十四年五月 35期・花岡條君の座右の銘で ついての最高責任者でもある ゆくことに意義がある 現副支部長であり<、会報に 今回、会報第30号を発行す

の諸先生方、 あった。 もあっての盛 力や、合賞各位、そして母校 たことを派師 なる大会実行 しかし 外 でのだけ、 阿窓会本部役員 大な大会であっ 見各位の御支援 会員各位の御協 年次ますます

、それを絶やさず継続して 会報の発行や大会の開催

は

として開催され、大先輩方始 として開催され、大先輩方始 り、今春、新外菜生の第八十 一期生を招替し、母校をしの んでの大会は 関東支部大 必義深いもので<br /> 記本年六月!

刖

しもよろしくお 大会の回想の一文にかえさせ ていただきます。 長野県上田高等学校史 明治・大正期26年間を詳説 中

資料豊富・菊版上製 470頁 頒布代・送料共3300円 母校に強んが少年の日々を想い起こす記録 貴重な記念として同窓生のお求めを乞う!

『中学後編』も鋭意執筆中、乞うご期待 上田高等学校同窓会

編

〒386 上田市大手1-9-8 電話0268-22-3149 振込郵便口座長野-5-10378 刊

ら藤原専務理事、上田の本部 会代表、長野県人会連合会が 会報30号と第 野は 画 橋に詳しいので

支部長・31期 (37期・浅野恭平記)

りなき御支援、 発行にあたり一の発展を祈念し、会報第30号 発行と、関東支部第二十二回 矢島 五郎

ている。 記 も早い回復をみなが切に祈っ 創設以来献身努力の人、一日 系統の不例で十月はじめ東京 必要とされている。氏は支部 在なおしばらくの入院加嶽が 病院に入院した。十一月末現 女子医大付属心臓血圧研究所 (37期・浅野恭平

らった。懸案の支部事務局の よび幹事会の労を拍手でねぎ に次いで予算を可決、役員お ーキー約五十名を含めて三百 余人。今年の来資はなつかし た女性大 名簿でひろうと、当時の『参戦適齢期』に当たる三十三期から四十期

不幸な世代に属したせいで、そういう仲間たちが実に多い。同窓会

とした気持をムリにふり切っ

校歌の大合唱に蛮声をあわせるので

ちである。

友を残念に思い合うのが常である。それは、あの大戦で果てた仲間た

姿を見せない友の消息に及ぶ。とりわけ永久に相見ることのできない こもった楽しみである。だが、そういうとき話題はおのずからここに 間はみな老いた。それでも幼な顔はしわの底に残っ

ごった返す受付近くにたたずむ私は三十七期、仲

ひとつの想い

大会報告の前文を兼ねて

上に倒れている。いつまでも倒れている。

平和が続いて四十年

に近い。

くおり、それを確かめ合うのが、多分におかしみの

ようとしていた。第二十二回を迎えた関東支部大会ー。年一回のなっ

かしい交歓は今年も一大盛況である。

化センターの正面階段を蹴って入ってくる同窓生の渦はピークを迎え 夕刻には間がある。よく晴れた空はごわやかに明るい。上野池の端文

一週間前だった。六月二十八日、午後五時半少し過ぎ。まだ

いに第22

め上田手曲、小諸、野沢北、 北佐久農、下高井農、木曽山 野沢北、 た。新卒生 長以下役員で 校長もむろ 2ラス担任先生 かけつけてくれ らに顔をそろ 程の金字理事 母校の斉藤

したのは見事だった。 してソプラノがホールを圧倒 の声がかかり、一同勢でろい やぎになった。感激した支部 レディも数多く、かなりの花 は美しい女性である。来賓の 歓談一時間余、最後はいつ 「オール女性、 埋上へと

春にかけて開かれると思うの スムーズに新旧交替がなざ に予定される総会に於ては れの期で進められ、来年六日 で、次期幹事の人選をそれぞ お願いする次第である。 れるよう一段の努力を願い あらかじめ充分の配慮を (支部長・矢島五郎

だ。若い同窓生の三人に一人

の姿が目立って多かったこと

今年の特徴のひとつは女性

は多くこの年末、年始から陽 や切である。・ 材の登場を得て、関東支部 陣容を一新し 層の発展を期したいと願う ついては、各期毎の同窓会 た。このへんで 清新溌剌の人

人に一人が屍を戦野にさらした この間の卒業生総数は一、三五三人だから一一・一多、つまり九人に までのうち、明確に戦死と記載されている者だけでも一五七人いる。 そういう仲間たちは永久に老いない。だから、遠い昔の幼な顔しか 人の割りである。ピークは三十六期で、一五五人中三一人、実に五

|私たちに残していない。思いやる私たちの想念の中

なざしを背に受けている後あたざからは逃れられず、今年もまたシンのに外ならない。それを有難く知りながら、彼等の言葉にならないま もそれなりにこの平和の世を過ごしてきた。この大会も平和のたまも では、彼等はそろってその幼な顔のまま異国の砂の 生き残った仲間は豊かではないにして 

来年は改選期

半も同様の任期 か年、 はずでに一明六 っている。役員 事の改選期に当 をつとめてき 員および各明幹 んる不肖以下科 来年は支部長 、幹事の大

サンキョウは、 明日の産業社会を支える 技術と製品の輪を 拡げ続けていきます。

吊務取締役 丸藤柳龍坂依大内山田沢野田田塚堀 協松尾会 平 Ш īE. 恒 幸 栄 弘 E 高雄信 (65期) 志(6期) 樹 徳 雄 60 57 期 造(66期) E 治 雄 52 56期

Sankyo OS/通信機器市場 家電機器市場 • AC+17-1-• 9 ( A X ( y f • 20 > 7 ●観咒カードリーダ ●観覧ターブドライ: ビテオ機器市場 FA84 \*0C,17-t-9 \*0C7-st-9 \*BR~yf \*At//ALXA ・祖元ナーブリウ ・祖の用ロボット ・可用エの根料 光学技術・電子技術・精密機械技術 -ディオ教器市場 自動業市場 · RANGENAL NA その他産業機器市場 トイ/ホピー市場 ●DC-17-1-9 ● MT:カートリーダ ● ボルコール \* 70 ; 7 \* 8 % 3 ~ 6

三協精機は、光学、電子、精密機械技術を基盤 に総合精密電子機器メーカとして、日本をはじ め世界中の産業機器、民生機器分野で活躍し ています。その製品群は、デミング賞実施賞受 書によって実証された品質管理技術を背景に 電子機器、情報機器などをはじめ、産業用ロボッ F、專用工作機械、磁性機器、時計機器、光学 機器、オルゴールの多分野にわたっています。急 速に変化する産業界の各市場における多種多 様なニーズにフィットした製品群を送り出す、より 高次元な「用途最適化設計技術」へと展開し つつ、光学・電子・精密機械技術を融合させた オプトメカトロニクスの極致への道を探求していま す。わたくしどもは、今後もより優れた製品を通じ 社会に貢献していきたいと願っております。

すぐれた製品を通じて社会に奉仕する



東京本社: 〒105東京都港区新橋1-17-2····· ·# (03) 502-3711 本社下導助工場: 〒393長野県講訪郡下講訪町5329署地費(02662)7-3111

大阪、名古屋、伊鮮、静岡、ニュージャージー、ロスアンゼルス、デュッセルドルフ、ベルン、香港、シン

選を行った結果、新理事長に 任期満了にともなう役員の改

周年(45年)校舎全面改築

層のご支援を乞う

一進ごれてきた。関東支部大会一から感謝の拍手を送りたい。

べてに関係し、或いは積極推に当たり関東支部としても心

氏は同窓会首脳としてそのす一く知るとうである。
ぎ退任

に大きかったかを、改めて痛 す。今まで上田高校が社会の

この素晴しい伝統に輝く同

の友や、多感な高校時代に共 でもなお、異郷にあって竹馬

いのかも知れませんが、それ

いうとは、人を勇気づけて に学んだ友人が身近にいると (38~39) 總立十

事が次々と重なったが、柳沢

れていた。とは支部会員のよ

学校中に特筆される大きな行一にもほとんど欠かさず出席さ

芸館で五十八年度総会を開き

同窓会本部は六月五日同窓

社団法人に改組(34年)同窓

統

真

知

3

定期総会が終っていよいよ

81期担任·高坂和義— 力いっぱい歌

0

た凱

すばらし

h

9

た支部大会

単谷高校同窓会のステージで

下さると

ールの奥の方には元級友たち

# 18年ぶり新理事長

組後は引き続き副理事長とし 砂の三代の会長、理事長を助 て林貞二、水野州二、金子行 ーダーとして尽力されてき い、以来六期十八年間本部リ 四年同窓会が社団法人に改 (32年)校名変更(33年) (当時の呼称)に就任、三 しの問野球部の甲子園初出 四十年には理事長に推さ

後の二十三年、はじめて副会 りの改選で、前任柳沢文秋氏 が27期なので一気に12期若返 が上田松尾高校と変わった直 事長とともに清新溌剌な本部 った。いずれも新任の両副理 した。理事長は実に十八年ぶ 軍治、水野春海の両氏を選出 金子八郎氏、副理事長に小林 一十二年学制改革で上田中学 理営が期待されている。 退任した柳沢文秋氏は昭和 が、重ねてこの紙上で広く同 る機会をお与え頂きました 支部の定時総会で、ご挨拶す (52年以降),創立八十周年 (55年)をはじめ同窓会史、 去る六月に開催された関東

なご支援を得て創立八十周年

見事な活躍をしておられま 今や世界各地で、また各界で 窓生は地元は言うに及ばず、 しました。そして、これら同

> 化は一つの大きな課題だと思 いますが、支部活動の活発 ない役割は多枝にわたると思 ろしくお願い上げます。 いと願っておいますので、よ が、会員情様のご指導とご支 のしまる思いをじております。
> 受会の会長を仰せつかり、身 感させられます。 進歩発展に果した役割のいか

重要です。 考えると、支部活動は極めて 会の姿だと思いますが、そう 学年だけでなく、年齢の壁を くれるものだと思います。同

立つ日々を過ごしたのであっ てからは、少なからず心浮き たのである。 いたいといった気持ちもあっ 来、という友人や先生方に会

そんなことである。 ところになるだろうという、 高校時代は一つの大切な依り

(東大・

そして、開催の通知が届い

は、自分にとっても、やはり、

感じたことを記したい。それ

最後に、この大会で改めて

高校は、一昨年、皆様の大き おります。ご存知の通り上田 ことを、大変有難く感謝して一たが、同窓生も二万名を突破

同窓会が果ごなければなら

助けて、仲良く進むのが同窓 越えて相親しみ、相励まし相

本部理事長 金子

八郎

授を得て大任を集して参りた



金子八郎氏 ・上田市材本町1-3 シナノケンシ郷社長

-23 (写真は支部大会

原建設(株)取締役·上田市議会 37期 - 上田市中央2-6-



小林軍治氏

水野春海氏

います。現在のような情報化

られ、心から敬意を表します 祈ってやみません。このよう 常に活発な活動を展開してお 力と、会員皆様のご協力で非 のが現実です。関東支部はリ することは、なかなか困難な と共に、ますますのご発展を ーダーの方々の献身的なご努 しかし、支部活動を盛んに り、そして上田高校とまた新 と多少はあった。 とかいうものも、正確に言う た。といって、不安とか緊張 伝統ある同窓会の一員とな

するという経験。そんなもの 多くの見知らぬ先輩方と同席 たな関係に入るという実感。

は「醬」」氏の誤り。

②6面「ふるさと便り」 みや」社長35期鈴木喜一氏 ①4回広告欄「ホテルねづ

0 永

上田市長水野裕貞氏は

るよう、こ尽力賜わりますよ な立派な支部が各地に誕生す

日の大会は、二時間余(1 が作用してのことだろうか。 部)という短い時間が更にも このように心待ちにした当

# 輿水歯科医院

た。おわびして訂正します。

通りお名前に誤りがありまし

おわび

前第29号で次の

與水 一郎 (40期)

上田市中央北2-1-17 電話 (0268) 22-1451

胸 部 外 科

田島 玄 (40期)

自宅 〒191 日野市南平1564-290 電話 (0425) 93-0505

池之端文化会館の大広間のス一たころだろうかと、担任一同一 心激を、力一杯凱歌に託して 則にして始めて関東支部第22 ナーシの上で、81期の新卒生 担任が並居る卒業生先輩を一二十八日、関東支部大会にご 今春三百七十一名の卒業生 気にかかっていたころ、六月

伝統ある上田高校の真髄に触 同期生のみの横のつながりだ れる思いがしました。 ともすれば他の学校では、

**予備校生として、新しい環境** 

んだことでした。

目を閉じると鮮やかに浮かん 歌ったあの日の情景は、今も そろそろ大学生として、また を送りだしましたが、彼らも 四大会に出席したようこびと

任ともどもご招待を受けてい

の総会には毎年新卒生が、担 招待いただいて心躍る思いで
く感銘を受けた次第です。 ることを知って、あらためて「に近ずくと、もうすでに顔を 本校に勤務して、関東支部

くのも借しい気持で話にはず 紅瀬させた新卒業生の姿が玄 た。上野で汽車を降りて会場 が出席させていただきまし 生、水科先生と共に担任五人 関に見られ、受付の時間をさ さて大会当日は斎藤校長先 友好同窓会の代表として、 級友の顔

て、時には母校の事や友人た一みると、それは、上高関東支 ちの事を思い出してみたりし一部大会が催されるという内容 い環境にそろそろなじんでき
「手紙が届きました。 開封して 無事に大学に合格し、新し一ていた頃、私の手元に一通の

愛 入っていくと、

一熱気で熱いくらいでした。ホ くさんの人がいっして会場は あまりにもた

とられえられなければならな 社会では、異郷という言葉 も、過去とは違った感覚で 動が盛んであると聞いてき。その活発な大会などと共に、 我が校の同窓会はかなり活一た。中でも、関東支部の名は

その大会に八十一期生として 出てきた頃だった。卒業以 今年は、六月末に開かれた

|と東京での生活に落ち着きも | て皆で歌った校歌だろうか。 参加した。丁度、六月という一象深いのは、締めくくりとし の詳細を思い出すということ 盛り上がりを想わせており、 も無い。だが、何といって印 松尾祭のファイアストームの く見られた。それはさながら 手拭いを鉢巻きにする姿も多 肩組み合い、また六文銭の

いくような気がした。 知らず、自分の声も高まって

## 日赤医療センター・

ようにと仰せにつかっためで

電話(03)400-1311

丸 Щ 英 一 (40期)

自宅 〒151 東京都渋谷区富ヶ谷2-5-9 電 話 (03) 467-6686

っさせていただきます。 顔 として活躍するであろうこと を深く感謝申し上げます。 15 本当にすばらしいものでし を信じつつお礼の言葉に代え またとない一夜であったこと いる今年の卒業生にとって、 ムを組んでの校歌の大合唱、 男性も女性もお互いにスクラ した。最後に老いも若きも、 タイルでの場内一周も正巻で ます。矢島支部長の騎馬戦ス のご挨拶も印象に残っており 親元を離れた生活を送って 彼らが今後後輩の良き先輩 宮崎 涙 の同窓生 支部大会を 席の確認を しかったと 年の先輩方が参加なさって楽 盛会であるとい のとの関 のです。 いたので、

絡をして出 急いで高校 は、関東

> せん。会は恩師の先生方の紹 の間隔を感じることもありま て見れば昔のとおり。3か月 たなあと感じた人も、話をし み出しました。容姿は変わっ と「元気ィ?」なんて話は弾 の顔が見え、駆け寄って行く

> > れ仲間同志楽しみながら、あ

っという間に一時間余りが過

実際のとう、初めのうち

は美味しいお酒にと、それぞしてしまうほどの熱気がそこに |話に、そして先生方や先輩方| て参加する我々が少々当惑 に、女子は思い出話や最近の 子は、目の前に並ぶごちそう とができました。

て物足り無さではない。初め 思いもあったが、それは決し ふだん粗食に耐えている男

しまった。もう少し、という 短く感じられる間に終わって

\*夕陽千曲の水の面に…。 一でそれぞれの生活に慣れてき 一けが強調されている同窓会活

同窓会の根本精神だなあと深 貫ぬかれている連帯感じそ、

時の経つのも忘れました。 のでした。我々担任もその渦 のあちらっちらに引き込まれ ている姿は誠に微笑ましいも の山を前にして、それぞれの 近況について大声で語り合っ 生がグラスを片手に、ご馳走 さながらの80期、81期の卒業 のテーブルにまじって、若鮎 ム間いっぱいの各期の同窓生 期待の懇親宴会になると、大

動の中で、一本太い糸で縦に

なんとな かれまし 約半月が過 胸にリ

张してホール 名札をつけて よいよ大会 化会館で開 初夏の六

のテーブルにいらっしゃっ 囲気で、近況を報告し合うこ たり、和気あいあいとした雰 ります。大先輩の音頭で乾杯 て、お互いについだりつがれ

して、やっと気分もほぐれた ある。何とか責を果たし、 なって突然、代表で挨拶する た。というのは、開会直前に はひどく緊張していたのだっ 込めたのは言うまでもない なく全体の雰囲気の中に溶け はあった。むろん、私自身も智

しかしながら、当日最年長

出してからて、会場のムードも盛り上が をする時には先生方も私たちに、これからも上高同窓会が れた先生方のご様子も、想変 わらずお元気そうでいらし

介に差しかかり、段上に上ら きていってしまうのでした。 こんなにも素適な会に招待

ら願っています。 盛んで発展するようにと心か 方、ありがとうございまし 割いてお越し下さった先輩 して下すった先輩方、時間を

乾杯の音頭 大先輩と肩ならべ

在校中からよく耳にした。 島田

た。そのあとは、機分アルフ

少しばかり感激的なものだっ 頭をとらせていただいたのは という先輩と壇上で乾杯の音 という具合であった。 にアルコール飲料などを口に

時の経つのを忘れた。 方や友人達との歓談にまさい ールのせいもあったか、先生 今となっては、大会の始終

関東逓信病院





新卒81期が大いに若々しい気勢をあげる 大文鉢の体巻きで校歌、凱歌の大合唱

輩のかつての技や現在の活躍 達に「何々君は不……」と先 先生との師弟の交わりが走馬 て眠れぬままに、今日までの を楽じベッドの上で転々とし ルで目がさめた。先生の容態 ら先生の危篤を知らされた。 い出した。昼過ぎ石田守兄か 途端、依田誠先生のことを思

館へ通った頃、ある晩日比谷 さった先生。 ぶりを誇らしげに話をして下

恩師高野先生逝去

書きかけし論文刊行するまでは

は足で書けよと宣らしたる

も及ばないことでありまし

いま幽明境を異にし、顧

夏季合宿で水道橋際の講道

動さめやらぬ私達の帰りを止 映画劇場で見た「望郷」の感



諏訪形五〇一の一の自宅で十

【略歷】明治27年11月28日



鳴 呼 96 궶

駅のプラットホームへ降りた 十一月四日朝、出張で上田 って待ち続け、無断外出の非 宿先の旅館の前で何時迄も立 4 40期:小林郷司

拠出させるなど、教え子を最 財閥に頼み込んで育英資金を たり、ある子弟には、同級の え子を、諏訪形の自宅の離れ へ引取られて勉学を続けさせ 優秀であった天涯孤独の教ことを告げられた。享年八十れぞれ違っても母校の教育一 って五時半先生が亡くなったら受付けする会員。分担はそ 九歲 +

月士三百(目) 諏訪形

生を、心からお送りしたいと 出て、傍目でも難しい程であ 髪の恩師であられる依田誠先 施二士三年間尽くされた、

> して逝去されました。お知ら 柔道界の最高指導者の立場に

せを聞き、まさに夢かと職 居られた依田誠先生が忽然と また偉大な力をもって長野県 日、われわれの最も尊敬し、 て参りました。去る十一月五

自分達の尊敬する、そして最

いうひたむきな気持がにじみ

き、その瞬間、大きな岩が崩

を論された先生。

六時半、枕もとの電話がな

た手を自分の呼吸で暖めなが

でする。<br />
石い会員の語君。<br />
凍え 千曲川の堤防で駐車場の整理 ぞれまじりの寒風にめげず、 付けを自ら指揮する山寺、石

五日朝三時ごろ長野のホテ

がら旧師を偲び、そして天丼 なってね」と目をうるませな かつてここで恩師にご馳走に 銀座の「天金」で、 「箕も の先生のご自宅で葬儀と告別 式が行われた。 東京は無論のこと、遠く新

灯のように思い出された。

後迄慈しまれた先生。

稽古前、道場で静座した私

をおごって下さった先生… たち数知れず。 すがって漸くたどりつく老先 渦や名古屋から駆けつけた柔 輩や、柔道班出身の若い後輩 和会員もあり、近くでも杖に

若くして百科辞典に名を列らね

**一部に及べば周上げて** 

ひとすじの道を師の歩まれし 君が言の葉止まらなくに いのち死ぬなと宣らしたまひぬ

高野豊文先生を悼む

38期

宮崎盛登

先生 誠先生がご自宅で永眠され 中生に柔道を指導された依田 戦後を通じて二十五年間、上 大正十年以来、 十一月五日午前五時三十 戦前、

分。八十九歳。葬儀は上田市ぼ一年後の訃報だった。 お元気なお姿を見せてからほ 柔道場が完成、先生を迎えて が盛大に行われ(本紙28号) 道場開きと先生の米寿の祝い 昨年九月には母校に新しい

界の関係者ら多数が参列して 二日柔和会の教え手、県柔道

依田

誠

る。得意は右小内刈、左払腰、 限を重ね昭和28年八股にな に入門、翌3年初段。以下昇 務。この間大正2年に講堂館 県蚕業、上田蚕系専門各校兼 転じ小諸商業、北佐久農、小 二月母校上田中学柔道教員に 生命保険に入社したが同年十

て昭和9年早大商科卒、第一 小諸の生まれ。上田中学を経

上四方固めなど。昭和6年に

は長野県下の俊秀を引卒して

をうたい、涙で絶句した 辰雄先輩が弔辞の最後で部歌

道大な思想を教育に取り入れ

Ш 薬品

が県業道界の重鎮として変わ 上田中学は昭和22年に退いた 柔道連盟会長、講道館評議員 み成果を上げている。長野県 北信柔道連盟評議員を歴任 旧満州、朝鮮へ柔道遠征を試

らぬ敬慕をうけていた。四十

四年四月颗五等瑞宝章。 迄も私達教え子の心に残るこ と共に、先生の御遺徳もいつ

私達の心にしみる柔道部歌

紅の血は高鳴りて 紅葉サンと輝けば 八百の胸たぎり行く 具田の丘の丘の上 「東浅間の山遠く 風秋をもたらして

いるところです。 発生の身にとくとしみ込んで ※和会会員をはじめ、各期間 力針とその成果は、われわれ に於て一本化するという教育 れた知育、徳育、体育を柔道 ました。先生が説かれ実践さ

玉

清

次

(40期)

その柔和会は昭和四年秋と

は進められたが、会長の横関 小林軍治先輩の司会で葬儀 さようなら。 とでありましよう。 依田誠先生、さようなら。

田の正副幹事長。折しものみ

**企館山おろしの風の中で受** 

った。

秋深く紅葉の色も濃くなっ 31期 山寺 豐

弔

辞

母校の後輩を錬える一方、柔 か大正九年士一月、二十七歳 段者会を創立されました。そ 大正十一年には長野県柔道有 道の普及と発展に力を尽され の時とうかがっております。 として着任されたのは、はる れ落ちる感がありました。 の結成発会式には先生の恩師 先生が母校の柔道専任教師 です。先生、安らかに眠られ 発展のために努力いたす決意 を体しいっそう務起して会の われわれ柔和会一同、ご遺志 おのずから溢れる温みと滋愛 た。正義を重んじ轍しい中に は万人が慕うところでした。 して剛健でのものでありまし 先生のご生涯は実に質実に

調道館長嘉納治五郎先生が阿 伝及び歴史を研究され、その 先生は常に古今東西の偉人 んことをお祈り致します。

愛しました=編集委員 歴と重複する部分などを割 の経歴、業績等、別項の略 (長文の弔辞ですので先生

高見沢電機製作所 約店 特

> 代表取締役 荻

原

愈

(44期)

部話(のの)のマイーへのののの 東京都設谷区代々木3-1-10

代々木中央ビル5日

株

ことができませんでした。個 ます。懸案の「柔和会史」発 恨の念でいっぱいです。 前になっております。本が届 行の計画も進み、現在完成さ 結成され、今日に至っており 生に、ついにごらんいただく くのを心待ちにされていた失 電解コンデンサー IC関連薬品等の高 純度薬品の製造販売

- 場・埼玉県富士見市水谷東3-11-1

東京都中央区日本橋本町2-1 信題 (04007) 74

株 日本で石油とガスを 産出している会社 会社

### 生涯学究に38期生の涙 祈りしました。 ぬかづき、先生のご冥福をお 捧げ、その声は測々として身 同級生を代表して、松井広

浄楽寺の真昼の庭に鳴く虫の

君の言の葉今し尊し

超暦を越えにし四十人の弟子たちに

声さえかなしみ霊送るに

五歳の高齢で死去された旧上 田市の国立東信病院で、八十 一日、肺炎のため、上 しの思い出に浸った。 中、一同涙しつつ先生の在り にしみ、香煙樓々として立つ 男君が、別稿のような弔詞を

病床になおやみがたき学究の

心燃やしし高野豊文先生 守られ先生のみ鑑賞まる

学の教壇にお立ちになりまし にご栄転になるまで、上田中 同十五年豐科高等女学校教頭

先生は明治三十一年にお生

ことでありました。それから になられたのは昭和十一年の かりであります。 みてあまりの変化に心沈むは 接する最後になろうとは露程 ました。これが先生のお姿に

本海洋石油資源開発

先生が上田中学校にご赴任

私たちの脳裏に焼きついてお

月

昨年他界した故岩下功君の未 かかえらがれなら参加、また が、不自由な体を夫人に抱き 特に先生に愛された有質温君 参列者の中には、在学中、 造く長野市より木藤勇君、南 佐久から堀籠(旧姓伊藤)雄 特に印象的であった。また、 き夫君に代り焼香されたのが

亡人和子さんもかけつけ、亡

上田中学校時代、学年担任

辞 38期

高野先生、永遠のお別れをました。

と、参列した三八会員は三十 を数え、一同深く深く霊前に 四名(ほか代拝四名)の多き った先生への最後のお別れに として、殊のほかお世話にな も、盛大に行われた。 浄楽寺で、しめやかなうちに 五日午後一時、市内下房山の 葬儀は、残暑なお厳しい九月 中時代の恩節高野豊文先生の

しなければならない。日を迎えせ、無

物の前にただ哀愁を覚

市君らの顔も見えた。 (38期) 穂谷 広男

人の世の習いとは由 も年の尊、上、退職校長会の 親しくお話の出来たのは昨年 たり、国府跡発掘の話を独得 気ごくに誰にも話しかけられ かやや耳が遠くなられたご様 大きな声で乾杯の先唱をされ すでしたが、誠にお元気で、 折りでありました。お歳の故 先生と最後にお会い致し、

えるばかりであります。 をお迎えし、卒業までの三年 た。私たちは一年生の時先生

この三年間は、生涯私たちの 間お世話になりました。実に

のゼスチュアでされておられ 波乱の多い多事多端の時であ にとっても、学校にとっても 忘れることのできない、学生

言ではないと思います。特に ご厄介になったといっても過 中学校生活の大半を、先生の りました。その中での多感な かにおやすみ下さい

生きております。先生、 いただきながら力強く社会に でに過ぎ、頭には白いものを ます。私たちも今は選勵をす

し上げ、ご冥福をお祈り致し みを抱き、惜別の情たえがた 寿一卒寿の祝いと尽きない望 れた先生に心からの感謝を申 いものがありますが、長逝さ の長寿を全うされました。米 まれになり、ここに八十五歳 から感謝申し上げます。 作っていただいたことに、 の地理を超えて私たち人間を ります。今さらながら、教科 力ある口調で語る先生の姿は ありました。人間味豊かで迫 味わえないユニークなもので ちて興味があり、教科書では 先生の地理の時間は活気に満

沢 敏 (40期) 鉱業所 32 新潟市太郎代字浜辺2881-51 電話(0252) 55-3221代

取締役・新潟鉱業所長

社 東京都港区赤坂2-17-22, 赤坂ツイン タワー東舘8 F 電話 (03) 584-0511代

るさと

中 万 .

小林鄉司事務所

公認会計士·税理士

東京都千代田区神田鍛冶町3-3

電 話 (03) 252-8801~4

青木氏の受賞祝賀も兼ね

香青 38

田

集

0

賢(35期) 三浦 健一(52期) 塚田 高明(64期) 安彦(40期) 荒井 恒雄(55期) 佐藤 昭二 (65期) 田中甲子男(41期) 遠山 幸三(55期) 宮川 恵三(65期) 寿(44期) 吉池礼次郎(55期) 滝沢 健二(67期) 昭広 (48期) 田沢雄二郎 (57期) 龍野 広 (69期) 淳(50期) 倉嶋 健夫(61期) 有賀 秀典(69期) 両角 克巳(51期) 伊藤 範行(64期)

〒107 東京都港区元赤坂 1-2-7 電話(03)404-3311(代表)

夫 (42期)

石 井 公 男 (26期) 垣 正 人(55期)

宮 原 秀 人 (28期) 宮 崎 光 邦 (32期) 小 林 三 郎 (38期) 西 沢 幹 雄(中退) 淹 沢 七 郎(47期) 花 岡 孝 雄(62期) 山 辺 和 夫 (68期)

カタクラエキスプレス株式会社 取締役社長 古田 カ(3/3/jl) 〒330 大統訂白素(474-23)7 (# 25 (0496) 43-3529

片倉信州不動産株式会社 取締役社長 本山 睦夫(3%期)

電 話 (0263) 36-5028

# 会

事務所 共同ビル (新千代田)

自 宅 東京都練馬区関町4丁目甲748-9 電 話(03)920-6736,6748



①真田の武者行列、十勇士の面々 手前は57期の益子輝之氏(上田市観 光課) ⑤上田駅では記念入場券を発

売した なじみの十勇士の面々、いず さっそうと行けば、続くはお 日正午城跡公園をスタートし は総勢三百五十人。十月三十 た。呼びものの真田武者行列 田は盛り沢山の行事で賑わっ 鑑かぶとに身をかため、馬上 はむろん幸村公。永野市長が て市内を行進した。人気の的 上田築城四百年祭で故郷上 一田の経済界を代表する

に一見をおすすめする。 続行される由。帰省のついで 今後も、商店界の催しとして けではなく、従来も、さらに た。ただし武者行列は今年だ 募もあり、 黒山の人出となっ てそれぞれ名乗りをあげる 海野町の角では行列が止まっ の奥女中隊もいる。松尾町、

ら菅平、長野、鳥居峠へ向う 果たす役割は大きい 解放され、観光、産業両面で 式典をあげて祝った。上田か じめ関係者二百余人が集まり 六・八古の真田パイパスが全 に同橋の上に知事、市町長は 開通となった。十一月一日

田 駅 かけまわる。むろん矢がすり ざやかな女武者隊、黒と赤の 脳束に身をつつんだ忍者隊も

> 分に光をさすことになる。 史および日本歴史の薄明の部 で、遺構が発見されれば郷土 場所は有力候補地の神科台地 十一月七日からはじまった。

一豪華本である。

滝沢氏は財団法人千曲寮の

した時の思い出などが名文で へ、雨の日も風の日も、また

時には吹雪の中を徒歩で通学

る点が多かった。 綴られており、感心させられ

紀行の中では、その足跡は

奥鹿教場にダム

橋はこのほど完成し、つれて 上田市伊勢山一真田町横沢間 入口の神川にかかる新川久保 としたいというもの。県議会 の承認を求め来年四月から実 県の二字を省き「東部高校」 変更の運動を進めている。 小県東部高校同窓会が校名でれ高さ一・三分の石柱が立 前号でお知らせした真田町 真田バイパス全通 111 の答贈。海野町は「北国街道 てられた。ライオンズクラブ

いたためである。 上田宿本陣間屋跡」原町は 刻され、永野市長の筆によ 一北国街道上田宿問屋跡」と 両町に同じ問屋(といや

るのは月交替で責任を負って またその事務所のこと)があ 上田に置かれていた。それは 確からしく、現に国府と一体 務をとっていた宿役人の長。 ・昔の宿場で連輸、宿泊の事 一信濃国府」は奈良時代には 古代の長野県庁にあたる 信濃国府を探す 新道沿いからは眼下に見え、 て行くのがよくわかる。 刻々と谷を圧してそそり立っ 巨大なコンクリートのダムが 山トンネルを経て松本へ向う が進んでいる。温泉から三才 四教湯温泉の奥でダム工事

の国分寺が確認されている。 田のどの場所にあったかとな キンフ世の整備計画などが進 ては観光の目玉がふえるわけ 山中に出現する。温泉にとっ 後には満々たる一大人造湖が 月というから、遅くとも四年 められている。 で、早くも遊歩道の建設、 完成予定は昭和六十一年三

念して発行されたのがこの本

でした。いつまでのお元気 は、まことに微笑ましいこと 伴いつきそっておられる様子 られる寿々子夫人が、形影相 つも「婦人警官」と称してお 興味深く書かれている。 その土地々々でのレボートが 南ア諸国にまで達しており、

小島 111

22

3100

3

清水规男記

文中では自然と人間、

氏が傘寿を迎えられたのを記 のを加えて一まとめにし、同 修所第十期生発行の同人誌や 主体になっているが、司法研 は、月報に掲載されたものが い会報である。この本の内容 四二五号に達し、大変息の長 行責任者でもある。 郷友会月報「郷友信濃」の発 友会を主宰しておられ、上田 理事であるとともに、上田郷 群で、すばらしい出来栄えの ラー写真などの印刷効果は抜 編。この本の用紙はコートの 版されており、今回はしの続 も「私の随筆紀行文集」を出 集」という本を出版された。

その他のものに執筆されたも

ふるさ 便 3

 $\mathbf{F}$ 

の世

を再現

つでもない。釧のひたたれあ

観武者ばかりかといえばそ

小県東部高が改称へ

海野町と原町の一角にそれ こで国府さがしの発掘調査が

上質紙を用いているので、カ

ら一里半程離れた上田中学校 い懐しい思い出、また生家か けめぐった腕白時代の忘れ難 この故郷において、山野を駆 世などの文中には、若い頃

遺構もみつかっていない。そ

同氏は昭和四十八年十一月に

昭和三年頃の千曲寮の思い

問屋跡に標示柱

くンバーが扮している。

真田武者行列55人

う

### が第一回に当たる。そこでそ に属する。年一回として逆算 のことで、むろん戦後の流行 校でもやっている。学聞祭 第二十六回になる。どこの学 われた。例年のことで今年は 両日にわたり「松尾祭」が行 3

母校では去る九月三、四の りははじまる。この日の授業 実際は一日午後の準備から祭 の空気の一端をお知らせしよ およそを紹介し、昨今の母校 めに、今年の、松尾祭のお れ以前の先輩同窓生諸氏のた 会明は三、四の二日間だが

ルにはじまり、二日間にわた で、体育館での合唱コンクー 15 のやや小規模なもの)で暮れ エーション大会(昔の運動会

午後は校庭をいっぱいに使っ てのフォークダンスとレクリ

は午前で打ち切られ、各教室る多彩な行事の癖が開く。映 三日、四日はいわば本祭り

# 性調査も学園祭今年 映画祭や落語



プログラム (表紙とも30ページ の表紙。黒、赤、青の三色刷り。

ザインはむろん生徒の手になる。 の「グリース」と松田聖子の 店もオープンしている。 士ちゃんの人気は母校でも高 女子生徒のサービスする喫茶 ようだ。 野菊の墓」の二本立て。 映画はジョン・トラボルタ

びやかに燃える場となってい

い。当然のことかも知れない

ただし、この学園祭を推進

いでもない が、何か可哀そうな気がしな ームに酔いしれてはいられな 中で、とてもファイヤースト

が、いまは若い血がもっとの の練習を連想させるだろう らせる。年老いた先輩にとっ い、青春の血を思う存分たぎ

きのような多彩な各クラブの 活動がうかがえる。 クラブ、同好会が日ごろの腕 た。プログラムによれば、つ と研究成果をひろうする「ス アージおよび室内発表の部」 ▽軽音楽▽吹奏楽▽混声合 生徒の力こぶが入るのは多

▽茶道▽囲養科技▽書道図 四日午後五時からはグラン マイコンクラブ▽郷土班▽ F同好会▽美術▽地質研▽ 代文化研〉食品科学研〉名 席(落語) ▽児童文学▽天 唱▽英語劇▽演劇▽松尾寄 ▽化学班▽生物班▽電気班 カメラ▽手相班▽マンガ研 学研(何と今年のテーマは 文気象班▽文芸班▽社会科 性意識関査) ▽山岳班▽班 ヒナー 濠の白鳥哀れ

デザイン、遊びの精神など。 ーマはコミュニケーションと ラフィックデザイナー)。

年の講師は五十三期の馬場維 は開祭式についで講演会。今 民(東京芸大大学院卒、グ

ドで閉祭式だが、そのあと夜一告して下さったほどなので、 斉藤校長先生がごあいさつの なヒナが五羽かえった旨を報 がごすが、会報に入れたせい 毎度お襟の白鳥の消息で気 一羽のみ

中でわざわざ言及きれ、小さ一生方、どんどんふやしてこ か、今年の総会に出席された一羽が純白の姿を水面にゆらし ていた。どうか後輩たち、先 も知れないが) を中にして三 の漆を白鳥の湖にして下さ では残った一人息子か(娘か は一羽だけで、この秋の所見 に残念ながら無事に育ったの その後をお伝えする。まこと 字時代からの畏友で長年信毎

手前が母親母と成長した ヒナ。遠くで弧独めいてい るのが父親らしい。 出によって齟齬を来し、止む なく上田医館会史編さんを手

その校正については、私の中 を完成した。

編だけで四五○頁に及ぶ大冊 を分たず書きつづけ、中学前 した膨大な資料をもとに昼夜 この仕事に専念し、その収集 単独執筆となったのである。 がけた柳沢理事長にお願いし 氏は昨年夏からの一年余、



このほど「続私の随筆紀行文 について、真理、善、美、学

ろが多かった。 み出ており、教えられるとこ たってペンを走らせ、該博な 観、世界観などが随所ににじ 知識を駆使され、同氏の人生 間についてなど、各分野にわ また「上田市の思い出

税理 中小 石

木

事務所・東京都日黒区中根1-8 宅・東京都日黒区中根1 由市神科学長島出身 断

# ある。三年生は九月ともなれ ば大学入試へ向けて全力投球 じめ二十五人が全員二年生で 委員長(今年は女生徒)をは し、コントロールする役員は 校史「中学前編」について

フの展示会などだが、むろん

んファイヤストームをともな

なっ

W会、演劇、音楽会、各クラーハ時まで後夜祭がある。

上田商校創立八十周年記念 20期(在上田)遠藤恭介

氏(20期)の単独執筆によっ 窓生で教育史の権威、倉沢剛 んは、一昨年その草創編が同 事業の一環としての校史編さ て発刊された。ついで中学編 に及んだ。 月にわたり三人で四校数十回 に勤務、校正に経験ある石井 注君(20期)に依頼、約 今回の「中学前編」は四七

方

収を急がないと次回の刊行

料はむろん安くなる。実は同 毎にまとめて注文されれば送 を迫加ご送金繭いたい。各期 〇〇円を加えて一、五〇〇円 「残金」、1100円に送料

取りかかれない。よろしく

び「ふるさと便り」は、そ

定したが結局三、000円と 定価は最初一、八〇〇円を予 ○質に及ぶ堂々たる美本で、 いただきたい。 学んだ配念として是非お求め 同窓生諸氏は若き日に母校に

> た遠藤恭介氏の一文は「信州 集委員会が作成しました。主 報社から得た資料を主に、細 れぞれ母校、上田市、信州民 よび「ふるさと便り」

編に準じて二五〇頁位にまと 上田中学拡充期として、草創 については同氏の意向により

たものを、ご本人の快諾を得 民報」十月八日付に発表され

記念誌委員会の了承を得たが よってなされることに決定し なって、母校の現役教諭陣に め、これは北村先生が中心と

昨年春、北村先生の飯田高転

なった。すでに振替で一、八一て入れました。ただし一部を 〇〇円を送って予約された方 省略しております

滝沢勝人氏が新著

続私の随筆紀行文集

えだ』第30号 う を祝

> Ŀ (40期)

横浜市旭区鶴ケ峰1-67 〒241 -2話 (045) 373-6818 勤務先 株式会社横浜銀行

量税務会計 土 Ŀ 屋 電話 (〇〇68) 市上 所 文

雄

(40期)

またこの中では、同氏が

この「郷友信濃」は十月で

国にも及び、さらに中国、 カナダ、西欧諸国から東欧諸

> 電話 (03) 723 9091 電話 (03) 724-641

(田姓上中)

林 (44期)

60〉柳沢邦人60〉柳沢泉58▽

野川数6~吉田

正55〉地島

蔵5724期 石

川秀敏55>大 格50▽三井良

沢中50>依 田赳夫8

58~宮入博88 25期 高島兵庫85>三井忠重 14 13 期

志摩亮平63 小山壑三0

4月

1 B

# 1 » 至8年9月30日 自58年

は昭和60年度分までの一括納入を示します。 右期間内に牧内会計または事務局へ納入の

清水新作80~宫川義治 小林元仲60〉近藤 盖 秀 58▽鴇沢貞利60▽林克巳88▽ 59~保科 嵌8~宮沢阜司8 太多学朝日二多学品世弘信 58▽清水好夫60▽鷹野富士雄 34期 神田精夫50~小林重昌 伊藤三義67~吉田龍二58 3期 川崎喜久治55▽中沢亮 茂多〉浜村恒雄62~ ▽内片 網58 三55>士肥幹夫55>堀内茂雄 55>小林乾泰62>清水公覧59 58~松山史郎50~矢幡 隆60 久治60▽高木通安50▽所昭 44 4期 荻原 ▽石井克己8▽岡野森太郎8 60▽宮後円都85▽大塚 寿66

2000年

治良8▽掛十次館5

井上希代子80~川合宣

53 期

小出 武80~申田育也

20

小平貞介61

佐藤 信60▽松尾 昭59 60▽工藤忠房8▽清水巻郎61 44期 有賀 治60℃伊藤茂久 哲美58▽樋川光彦58 45期 富岡輝 59

23期 青柳忠三郎58√市川善 ▽堀内 功48/柳沢義房58/ ▽横田売一60/金字寿夫60/ 58√平島 実85√松平忠久58 35期 宇野 智85√北村武敏 55○神津勝時8○佐藤義仲8

雄5℃極口 政80~小山正 二郎55〇大森頼雄55〇桑原民 58

塩入重雄8▽白井速雄60▽竹

▽下村選男99>田中藤平85> 58▽坂本史郎58▽清水志郎58 37期 岩田茂樹62~内田重喜 58▽丸山英人88▽小林正登58 36期 掛川重義58▽高遠弥六 下栄昌50▽堀内啓爾58 勇55▽原田安雄55▽堀 48期 浦田光維8♥熊川次男 村義夫50~山崎繁広58 ▽沢木敬郎67▽瀬在 弘55▽ 60▽北沢和範55▽小山邦明60 郎80>大川悦生80>金子 宏 47期 馬場善一58▽上電平八 田沢 徹85~山岸五郎85~中 55期 有質文昭58▽内堀真通 ▽小市則夫60 65〉神事 ▽成沢祐介62▽宮下衛之58 58▽清水好昭58▽塚田忠夫66 56期 上原清治58▽大塚明彦 **2000** ○ 100 ○ 1

27

28期 市川為維多>坂井実雄

内敏維50世中武人50一古畑

58〉酒井寬文8〉高柳直樹8

▽西島韓夫85~小平卿夫85~

進紀〉竹田

武58

74期

高橋あゆみ60

山極道生58

徳宝8

58~ 施沢 伝 61 26期 坂田隆雄60▽田口喜一

西沢 信55▽工藤一三

29期 笠原文雄55▽滝沢磐58 62〉 確決率司58〉 宮原秀人58

30期 荒井正善55▽小林政家 ▽水野亀錐58▽峯村秀男60▽ 38期 牛木睦富55▽清水機男 60▽清水則夫80▽白井広重58 和男58》田原 上信三58▼相田俊一58▼児玉 中沢清男易▽堀内 惇の▽村 ▽竹内元率55~寺沢 明55~ 49期 久保利夫8℃小林斉之 58~横沢武久58~有井 穀58 57期 上原 宏多>望月英明 柳沢戦学5〉藤原鎌之59 ▽藤田昌茂55▽前田由美子59

58 80 79期

山崎敏夫60~清水茂夫

以上三六〇名

子55▽清水幸雄58

6℃世尾 清5℃柳沢 58~斉藤 清50~塩沢丑太郎

宫原 敦8

>柳田茂雄8▽山岸 | 161▽

忠 58

▽出浦新一58

3期 走沿進吾60▽赤沿喧人 4期 今井甲子雄60▽小山信 渡辺嘉博88▽原 相模60▽柳 61▽松尾勝人60▽矢島良衛59 39期 大塚唯男58▽志津田端 平60~市川正夫80~森山博司 穂8▽竹中幸高8▽橋詰 亭 ▽鶴見慎一郎50>中沢重夫61 50期 北川嘉一58▽久保田 野貞夫87山浦健造8 岸万亀男58▽岸瀬一夫58▽上 藤原 実8▽前田芳造5▽山 ▽中山典之60>原 行明80> 58▽確沢 栄50▽確沢茂夫58 介6♥城下幸雄8♥流沢 ▽三井宣夫8▽宮坂率雄8▽ 《2》

58年6月28日

▽中沢金一58▽保利徳彦58▽ 61〉田中善季60〉土屋 始8 爾64〉富永 擊85▽新美 毅 襄8▽小山洋之助60▽竹内啓 28 25

58▽藤城敏幸60▽吉池

古地县三58

吉田為雄多〉松野輝彦 

50▽清水哲夫60▽平林 直8 43期 小山栄治55▽小山久之 ▽保坂利勝56▽丸山瑛一 42期 青山幸夫55▽小林幸雄 >横山誠之助60~六川英夫8 60~西沢 毅80~六川博輔603)左藤成男60~横田種雄60 51期 掛川国雄50~竹内三男 賀秀雄50〉上原 景50〉蒲生 ▽遊び羊一60▽吉村羊

62

行8▽中島和夫9▽原島佐吉 ▽柳沢孝宣8▽矢島寛文8▽ 44-5期 古平照男58▽小林 52期 伊藤裕幸58▽関 保8℃清水茂 50▽松沢秀雄50▽矢部 崎義一6○掛川正司58▽久保 60~ 杏 忠62▽松 信58 60期 戸塚武維5♥橋本隆弘 ▽浦原則夫55▽清水候博65▽ 55▽藤原秀臣60▽山日元彦58

38期

39期

長藤 勝55▽小木曽 本山睦美8 義徳58▽篠原

58~椭醇人60~三木光一58 夫8▽篠原元司60▽土屋勝俊 54期 土屋晃一58~浜村希志 ▽須田武久60▽塚田 靖66▽ 下善郎60▽柳沢浩二55▽佐藤 滕森善也8▽宮沢良和61▽宮 58>川村赫司8>成沢三雄8 子50~答前公康50~中山和查 63期 小池平一郎55▽高見沢 60~渡辺率治60 62期 秋田 59▽玉木純雄60▽萩原清人58 治60\武井長久60\山本寿美 勇55>岩井重

64期 岩崎民雄55▽大日向重 関伸一58▽関和 59 55>片山義55▽ 6期 大井建夫 徳55▽一瀬清治 57、排井

表示の期間以前に将来

方は含まれていません の年度分まで先納し

78期 佐藤聖子58〉所 山美 ▽吉村邦25▽鳥羽膏幸5▽ 58~古典克吕60~小市章洋58 ○
京
京
会
大
野
一
京
を
下
会
で
表
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、
会
で
、 获原悦夫9▽長井齊久 太田喜久代85~下村文 Ш 国雄60~4年操生57~山本忠 西沢 殺婦>竹内芳徳57>中 59〉上原 异50▽竹内孝夫57 司50人有 至50人上原英一 惠公500皇川正範500宮川 内克好52~小林益太50~平尾 ▽鎌里秀嗣5▽市川慶伍5▽ 山本曼久50℃下村優級50℃村 ▽上原路進80世内照進50 ▽寺島国夫50~浅野井 哲57 山峰維打小林蟞三50-排 質50▽井出英三郎55▽竹

69期

杉本真理子58

57〉北村英雄57〉池田寛三57 53期 若林詩和58▽中沢 ▽小林志郷50~武井 厚50~ 柳沢五郎5√塩崎東男5▽藤 哲

55 期 小林正文57 草野和子62

67 68 竹内俊隆57

なりました。このリストでご自分を確かめ、 雑にまざれ一人か二人のお名前が記帳もれに 無い方は事務局へお知らせ下さい

第22回支部大会受付へ納入の方。当日の混

74 73 71 期期期 小林一年57 坂口洋三7

以上・八八名

58期 杉浦晧元58▽井沢 沢雄一郎60 高木佳年55~碓氷栄一60~田 58〉服路与出500田中越 58 58~北沢茂50~椎塚三夫58 32期 夫 31 58 期 33期 士屋利一50>鈴木真! 少品里 66~宫入秀

14期 坂口勇・王二六

知 田沢徹・丁二 五一川

崎市麻生区百合が丘ニー

―十三▽小山邦朋・〒一七六 部与治・〒 二〇―足立区至

研究所

練馬区小竹町一上二六

58

田村忠男58〉荒井信明50〉有 50〉小林俊雄58〉寺島総士58 34期 59期 甘利武司58~有賀勝雄 ▽中島秀忠る◇波田野 嘉市55~宮原清明58 浩58 37期 36期 皆藤義久58 35期 石含糖一多少小宫山壁三8 淹沢 正8℃ 花岡衛8 柳田 誠8 砂田量寿8

> 町大網八五五十五 30期 沓掛友彦・エー九九ー 塚市松風町二八一二八

三二一千葉県山武郡大郷白里

名古屋市瑞穂区田辺通一一二 一二 (株) 松腦内 48期 北村愛典・〒四六七一

▽酒井寬文・**〒**五七二一寝

〇五一長野県小県郡武石村

日本原子

吉

田

節

生 (40期)

下100

電話 (03) 503 6 東京都千代田区内南町2-2-2

宮国生命ピル15階

勝55>小山 満55>香掛 忠 44—4期 峰村昭三58▽成田 摩三郎85~深井晴久88 42期 大流善夫59 41期 高橋一行550田中稔治 学 58 44 5期 投 宁50小山 58 58

0 2

63期 笠間公憲・エニハー 横浜市港北区富士塚二丁五 62期 岩井重一・デニニー 十加藤ビル 一一品川区西五反田一丁五 武石八八〇中村員・デー四 6期 川合宣勝·三三八六 一二二一文京区湯島二十 住一一一一一▽羽毛田信・ 船橋市芝山三十二九一五〇服 60期 戸塚武雄・丁 モ四

海男57 ▽竹内義広57×今井正明58▽ 58〉伊藤正明58〉小林和夫58 48期 消水 卓8▽山崎延秋

5期 飯塚 安5▽大平 49期 池田芳彦8 竹内一夫8 踏6○龍野勇介57

**彦57▽柳沢** 暁57▽原田政美 山博司・エニニー川崎市宮 里子雄・デーベー小平市小 九▽竹内武弥・〒一四九一鎌 前区宫崎一六九 川町一一〇九八二三〇森 倉市寺分二二十一四〇今井 沢町旧軽井沢六七四 43期 上野敏雄・デー〇ハー 横浜市港南区日野南一一七一

44—5期 柳沢広・〒二八九 井沢敬・〒一三五—江東区東港区高輪四—二二—二九 板橋区赤塚四—二六—十七▽ 品智二二三二天 >松山史郎・〒三二〇一字都 段野県北佐久郡軽井 八▽藤原秀臣・デニモ〇一十 柏市松葉町四一一十十二〇 59期 水出靖仁・デニモモー 陽一丁ニーハファミリータウ ○四▽峯村誠次・丁三五一 上 □▽山本政道・〒一七三 ン東陽H一五〇四

二〇四▽小山飯雄・〒九四三 江東区古石場——十一九協同 40期 井本公一・〒二三一 38期 矢島勇雄・〒一三五― **茅ケ崎市茅ケ崎二一四ーーー** ンション音和人二三〇八 三鷹市上連雀八二一一マ 32朔 市川三男・デー七〇一 37期 下村選男・エニエニー 34期 高見沢正・テーハーー 豊島区上池袋一上三八一十五 上越市大貫一〇八五一二 区生田四一六一五>原田秀夫 1プ野村梅島一○○四▽滝沢 足立区梅田七二二五一士三二 49期 上野貞夫・〒一二三一 二三一長野市稲里町中氷鈴 六五一五〇六〇中村智治・〒 七一一八七〇児玉和男・デー 五一川崎市麻生区麻生一〇八 上一○一▽中沢清男・〒二 54期 倉島能・〒101一保 芝崎町高崎二二七七 三〇〇一二一次城県稲敷郡 5期渡辺洋一・デー六ハー 三一七一一一大庭様方 ·〒一六〇—新宿区高田馬場 茂夫・デニー四―川崎市多摩 尾川市三井が丘四-十一-- 江東区東陽二─三─六-M 川崎市麻生区千代が丘七一四 5期 永井洋司・丁二五 杉並区和泉二十三六十二四 四〇一品川区八棚五一十二一 一四八一鎌倉市笛田九〇二一 +九▽||科場・〒三五

ここに記載の諸氏に住居の移転、表示の 変更がありました。新しく判明した分も 含まれます。名簿を訂正願います。

鎌倉市梶原二―二七―一―二

5期 中村省三・エニ四七一

十九一時野往~関和義・テ

〇六一一二一一札幌市南区府

合用富士町三一九一二五

林弘義・一一八三一府中市時 杉並区桃井二十二一十四〇平 喜久代・一一五三一目黒区東 58期 波田野浩・〒一七五一 57期 飯島紘栄・デー大七ー 浜市緑区西八朔町七六-四 5期 村井弘・丁二七一横 配一一十一四一五〇一 橋区通根・一二三一一マ大田 川六条二一遊川団地四一四〇 山工二二五四 一▽斉膝義雄・〒一七四一板

78期 滝沢英一・〒一八六-三一三九一二三一広木様方 国治東一上干 和子・テー六四一中野区中中 ゆたか在一下十五号▽柳沢第 杉並区久我山五一三六一十 79期 山田義治・〒一六八 X 竹期 佐藤和子・〒一八○ 武蔵野市吉祥寺本町二丁二二 金属㈱ 3

### 川越市下松原六六二十十一古 6期 掛川修身・エニー 上用賀五十九一十一サント 九〇七〇竹内俊隆・丁二二 夫・デニ六〇一千葉市高洲 65期 塚越光率·元三三五 横浜市南区別所四十二十三天 一七〇一豊島区巣鴨二十三四 イツニ〇三号▽小市章洋・デ 村邦彦・一〇五一世田谷と 6期 山極道生・二三五六-- 渋谷区初台一-四九-デ 68期 杉本真理子·〒一五 蘇市中央ニー六ーニマ高藤像 --川崎市宮前区宮前平三-日本アルプ

人して一二〇五

水 野 洋

三(4期)

上田市中央5-13-11 電話 (0268) 22-0637

武井 郁夫 (40期)

上田市路入1-3-26電話 (0268) 22-5487

尾

島 正 古(4期)

電話 上田市

# 尾島建築事

(ONGO) NN-0645 路入子上了 の親睦につくす。

七月七日長野市地区居住の

され、本会より矢島支部長外

今後の本部と支部との連けい

九月二十一日会報第三十

会総会に招待を受け、本会の

☆ 開催、概ね原稿も集り、委員 いについての、第二回編集会議 が十月二十八日 会報第三十号

一警官の苦悩の物語だ。主ーション』を放映していた。

考えているうち思い出したこ 誠に残念というほかない イアである。事情もあろうが 人生のハードルを無事に越え ら人妻になり、母視となり、 欄をかりて一言ふれたい 残す人もいよう。そこでこの 可憐なセーラー服姿を記憶に

ומל

失礼な思い過ごしに過ぎぬ。

▼あくまでも想像である。

だが、生命が深い深い疲労に

▼会報の原稿を書きながら

つ過ぎていたのではあるまいな、あの声に、耳をかたむけな、あの声に、耳をかたむけ 空しさと深い疲労を、いわば一つない。ないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、一つないでは、

ートレード株式会社シー・ピー・インタ

日本代表者 井本

公

(40期)

とがある。たしか死の数日前

人公が東京五輪の射撃選手候一警官の苦悩の物語だ。主

楽しく終る、出席四十名。 察を議し、熱気も上りかつは報発行及び役員改選等々の諸

に、そのまとめを約して散

半であの自殺した円谷マラソ

させられる展開になって

補であり、任務のために挫折

エおちいった日目々の苦しさは 財力能く重いものだったに違 いいない。もとより私にそれが、何か他 人でしてはない気がする。心 から彼女のこ気福く、あわせ

ことなら何でも――

取締役社長 〒171

吉田

光輝 (40期)

話

03-971

3 5 0

東京都豊區区雑司ケ谷2-6-3

局區

誌

至58年10月28日 自58年5月27日 九月二十三日

り開催

本会より本部の理事も兼

門正副支部長

始めて本会より矢島、

長外四名出席。 す。花岡会報部長、浅野編集 号についての編集会議開催 に協力を語る。

九月二十二日

今後の本会

九月二十六日 出席、郷土の上田市を偲び友 の正副支部長外役員三名にて 大会の節の返礼も兼ね、本会 る上田染谷丘高校の東京同窓

会員五千名を

物心両

更に現支

校史の編集経過報告あ

六月十一日 本部にて理事会 より矢島支部長及び役員、 会館において開催され、本会 六月五日 母校の同窓会総会 (木曜日)

五月二十五日

正につくす、委員各位に多謝。 委員長始め委員五名、連日校 **角二十三日** 四日

大月二十八日

本会の第二十

一回、関東支部大会を上野池

一十九号の校正に、清水編集

校との親睦につくす、十九校

母校々門前の同窓会本部

支部長外役員四名出席、僚友

会開催され、本会より矢島 会連合会の東信地区同窓連

港区青山の健保会館にて開催 連絡会の東京連合会総会が、 七月二日 三百余名の出席にて盛会。 之端文化センターにて開催、

て上田市内にて慇談会開催、

理事長と本会の矢島支部長に び第四十二期、水野春海新副 十九期、金子八郎新理事長及 七月十七日 本部新任の第三 六十余名、楽しく盛会。 今後の友好につくす。出席も

先輩と、支部長の五名。

僚友校であ

を開催、去る六月開催された ターにて、各期代表の辞事会 九月二十八日 上野文化セン 全員出席し、諸案を議す。

てきたのに、この悲し 姿は十九年前だった。あれか

一十二回大会の反省会を兼 年会費の納入懇請案、会

ね第

(28) 坂井の四名の相談役諸

(23) 大森(25) 馬場、

案を譲す。出席者は(21)島以 大先輩の相談役諸氏と諸 部長外役員の明春改選期に至 き〜遊山智士〜田中ちか子〜 村和彦▽百瀬敏夫▽滝沢さつ 子之両沢克彦ン小林敦子ン下 笹沢英生▽堤

矢島、

(35) 花岡、

36神

ないか。そして遺書の声に くまでも、もし、だが、 朗読には参った。

もこの放映を見ていたのでは

彼安

▼そこで "もしや"

(4) 小林、正副支部長

▼東京五輪での栄光の選手

いか。自らもオリンピックへ っと聞き入って

いたのではな

面の円滑な歩みを画し、(31)

(以上・二九一名) かりマ小山聖子マ高橋君江 橋詰博貴▽獺殿久恵▽四方ゆ 千明>栖沢里佳>木下幸治 西沢正明マ小山かおりマ小鳥

長野県高校同窓会

帆▽吉田幸男▽須藤尚

▽堀内孝四郎▽中沢嘉人▽手 沢克彦▽若林 雄〉富田正芳〉矢島俊彦〉塩 近藤和実▽唐沢昌弘▽稲垣正 八宏〉倉島今朝徳〉西沢益男 ▽小林永郷▽中沢則夫▽斉藤

組▽清水英和

一▽阿部節子▽長谷川栄一

恒夫◇柳沢

孝〉青

士屋秀夫▽広田勝久▽ 竹田徳治〉山本晏久〉

53期 土屋正行▽掛川康夫▽

海◇伊藤良

一蔵▽黒沢博身▽和方俊二▽藤

幸▽生方健

柳沢 泉▽石井 田中秀喜▽山極悦雄▽林部安

唐沢完治▽小島健二▽池田孝

駒村宏一▽下里

麦▽西沢伸志▽大日向信定▽ 68期 春原茂徳〉成沢和幸〉

功>土屋寬貢

51期

夫▽大島義久▽鹿野耕次

西牧洋一▽江島森之▽

瀬義明▽小松康夫▽甘利秀夫 ▽佐野美博▽富田政江▽柳ケ

学品

▽交山勝也〉宮沢重空▽宮へ

81期

森岡岳美▽清住哲生▽

組

集

後 記

79期 松沢寿樹▽佐藤美奈▽ エミ▽石井秀樹▽矢島かほり

宏記>中島靖

命を絶った。ちょうどこの号

と結ぶ。

画面に彼の元気なう

吉はもう疲れて走れません

ンニング姿が流れているだけ 続く。最後は母親へあてて「幸みこみ、抑揚を欠いて延々と 林和幸▽大蔵幸子▽牧内理恵

67期 飯島康夫▽長谷川律男

草野治男

78

罹田治長▽黒坂重保▽沖島伸

倉沢克弘〇小林 小山 功〉松岡秀夫 滝沢直人▽伊藤

零 部

> 弁 堀

深了山辺光一▽井沢敬 出去云常

賢治

\$

**季** 

表 浩

57期 浦野好酬▽中島順造▽

英毅

井沢礼次〉小沼重率

# 文書でお知らせ下さい

**適崎宗夫** 

彦▽西牧博徳▽土屋英明▽児 文 石井光春 宫沢壮介▽小山礼節▽清水武 博〉町島正飯〉岩浅之 内藤 清〉流沢

賀正弘〇中沢裕治〇大沢義降

馬四十

吉▽平等志成▽宮原大和▽室 62期 片山隆行>中村明義> 和比古〉星山輝男〉宮本文容

生田豊重▽山崎保正▽滝沢伸

真崎秀雄 松井喜三 武田徳人

永井佳雄▽西江広之▽内藤義 継▽甘利喜勝▽土屋弘一▽小 56期 勝野裕夫▽加藤 64期柳田 幸〉竜野恒雄〉飯塚 信▽河西郁男▽淹沢鉄夫▽丑 荻原英夫▽柳沢光秋▽草間茂 田英紀〉柳沢義夫〉小田中時 63期 細谷勝夫▽倉沢平一▽

> 夫▽小林勇雄▽**岡崎修**造 伊藤治男▽篠原和男▽清水隆

治>城下 微>中村 小泉敏衛▽野口克哉▽八巻満 喜政▽小出淳一▽小宮山弘▽

〜田

りました。謹んでご冥福を祈めの同窓生諸氏の訃報があ

相沢安則〉佐藤勝博〉

平學☆ 舞 響 意

おくやみ

■2期 三井 治郎殿

奥様より文書

5期 小林

市村

隆〉宫沢昭 (一)柳沢選

沢井繁男▽児玉岩正▽滝川幸 65期 松井幸雄▽柳沢光美▽ 地ン安田 総〉馬場宗書〉 学 務义関 郷マ中 加期 | ▽芦田高英▽曲尾哲夫▽飯塚 73期 中島嵐志▽久保俊彦▽西村尊 ▽滝沢正幸▽橋沢弘隆▽宮下 明子〉高橋広光〉柳沢振一郎 ▽中島靖志>竹村 宏>青木 拓朗▽宮沢敦子▽増沢幸正▽ 佐穂里▽小林啓男▽小井仁一 加藤美智子〇石井

子〉井村敏明〉竹鼻晴彦〉小 山崎治道▽剣持伸彦▽竹島貴 子>小林由紀維>荒井 敏 柳沢博▽滝沢英一▽ 倉沢 徹〉柳沢浩徳〉和田澄 長谷川剛▽宮沢秀木▽中野亮 俊伯〉佐藤宏治〉田中庙明〉 ▽谷川博幸▽小沢文明▽田中 田勝昭▽栗田泰介▽伊藤処 洋美〇色川正彦〇花岡 ▽山崎克誉▽西沢一江▽田中 8期 石黒久仁子▽工藤善正 ▽宮沢好 中秀樹〉竹内恒久〉西沢澄雄 りご遺族様方に心からおくや

藤健太郎▽中畑健二▽柳沢霧 一□▽矢島克美▽中村選維▽佐

●16期 佐藤 五郎殿 昭和五七年十一月二 御子息様より文書報告昭和五八年三月二七日 御遺族様より文書報告 奥様より文書報告 日

●12期 清水 逸平殿 御遺族様より文書報告 ●48期 岩室 秀夫殿 29期澤 ●23期 島田 昌一殿 奥様より文書報告 B

●23期 澤明人殿 明人殿 四和五八年八月十日 (23) 大森頼雄氏より

住居変更

小林正文・〒

一条一

黒区中目黒五十二一一九、

加賀見徳行〉柳原 樓〉久保 6期 片山栄昭 | 阿部 村喜昭▽松野茂夫▽大池高保

尊

浦夕美・〒一七六一練馬区練 大学一の矢─五─四○七▽山 五一茨城県新治郡桜村一筑波 戸田市旧公園五一五一東京大 8期 清水茂夫・〒三三五 学艇庫▽茂木千佳子・〒三〇 了面から続く 藤ハイム一〇 六六七一稲葉様方。 

二二三一横浜市港北区下田町 ニ三八一○小見山康司・〒 〒三七二一伊勢崎市安堀町一 九一足立幸様万▽小野義孝・ 豊島区雑司ケ谷ニー十七一十 酒井和彦・〒一七一一 以七十一名

記一(大会日に)

74期 坂口洋三・デー六六ー 杉並区松ノ木ニー四一二三、 横浜市緑区あざみ野ーー三十 7期 小林一輝・エニスー -五コーポシスル二〇六 花岡聡・〒一五

ユリス西麻布三〇五 

1 80 期 部在▽藤木芳房・〒二二五、 川崎市麻生区王禅寺八三万保

金字和館・デー八二一調布市 世用谷区深沢一一三七一五〇 石森要一・デー五八 T

显上 七名

# 料理 松ケ枝

大沢 茂 (40期)

上田市中央 3-16-4 電話 (0268) 22-1467

丸子町中心街の 落ちついた\*宿。

白倉 高 (40期)

長野県小県郡丸子町上丸子 985 電 話 (02684) 2-2051

会報第30号を祝す 竹 皇 ·鎌倉市等分2-20-4 港区党ノ門1-2-内 電話 (0467) 44-3911 武 彌 (40期)

### #石田商店

テレックス SONN-OSGCPINTJ

〒四 横浜市港南区日野南1-7-9

話 045-899-0708

石田 守 (40期)

上田市中央 4-18-6 電話 (0268) 24-5630

## 上田製菓

吉次 (40期) 土山

上田市中央 4-18-34 電話 (0268) 22-4557

矢島 信一(40期)

世田谷区成城町 成 城 通 り 電話 (03) 482-2924 上田市市会議員

昭 金

(40期)

上田市大字上野2318電話 (0268) 24-5908

### 0

: 昭和30年度以前の未納分は不同です。 : 裏面名簿に氏名のない不納会員は57、58同年 度分3000円を一括約入して下さい。 : 裏面氏名の下に57の数字のある方は57年度分 まで会費切れです。58年度分1500円を納入して

まで鉄乗りれてす。50年底カッカルボートでさい。 : 80期の会員はすべて58年度分から、81期の会員は59年度分から約入願います。 : 終め切りに59年2月末日です。ただし59年度 分は3月以降で結構です。

1は3月以降で船舶です。 年会費は年額1500円です。 多年度一括前約をされる場合も58年度分を含いさり同じ締め切りです。 20期以前の大先輩は会費が免除になってまい r。特にご送金下さる方があって有難く拝受し こおりますが、以後はどうかご放念下さい。

## 報の限

: 裏面氏名下に57の会員は58年度会費を上記締め切りまでに納入しないと31号以降の会報が届かなくなります。

:氏名のない不納会員は57、58年度を納入しないと同じく会報が届かなくなります。

:58年以降分の前納ずみ会員には、会費切れになるまで引き続き会報が届きます。会費切れの

節はその旨をご通知致します。 : 20期以前の大先輩には無条件で会報の配送が 続けられます。

:81期の会員には31号、32号とも届きますが、 59年度を納入しないと33号から配送が止まりま

今回の措置以降の会員と会報の扱いについて は会則の改正とも 関連して、後日これを定めま

製上田高等学校同窓会関東支部会報

なのであります。この問題は 営して行くための資金の不足一 創設の趣旨に従って満足に運 金の不足です。支部を、その しくなりますが、要するにお 前からの懸案で、毎年数回は すでに数年、あるいはもっと 財政問題などと申せば固苦

論議の的とならなかったこと一ぐことができるかも知れませ はないほどです。そして幾度 ひらかれる幹事会で、これが うことでありました。 ん。しかしこれは対策として 同窓生の寄付、カンパでしの 額の場合には、或いは篤志の 源としております。不足が少 さる会費をほとんど唯一の財 以外に解決の方法はないとい 支部は、会員が納入して下

つ、会費納入率を向上させる 論議致しましても結論はひと一は甚だ不安定でありますし、 の遺を果たし、もって支部を 第一そうした第志にたよると 同窓生が、それぞれ己の分担 までも同気相求めて集まった き本道ではありません。あく いうと自体、支部の執るべ 守り立て、維持するというの

せん。もっと会費の納入率を が本来の姿でなくてはなりま ペーンをせよ、そして一日も よ 役員、幹事はさらに努力せ ことを訴え、用紙を同封して 参りました。会報は毎号その 員も及ぶ限りの努力を重ねて その結論となっております。 うした意見が幹事会を圧し、 早く健全財政を確立せよ、こ これにこたえて、私ども役 会報もそのためのキャン

し、納入者の氏名は洩らざず 納入をお願いして参りました の便をはかったことも 細なリストとして発表、 いう克明な調査も致しまし での納入がなされているかと 各個人についてどの年度分ま 掲載しております。さらに、 て、これを壬三百有余名の詳 納入 画の 五十七年度分日 ごらん下さい。 生

はありません。 にもかかわらず、 納入率は 名のお名前が列 おります の前級者匹

名、さらに五 分まで前納の 従って、五十八年 百が八七八 力が含まれて 九年度分まで

五人 会費納入 で情はどうなっ

納入された同郷生一、一三一 云豊納人者名簿」を には五十八年度 学されており そこには昭和 てれにはまず裏 ります。この間、製作・印刷 が、実は会報製作費は広告料 一な協力を得て製作費はほぼ広 はないかとの声があります 費の値上がりにあわせて、広 告料に見合うようになってお をとって以来、同窓生の多大 期会が交替で担当される制度 す。広告が特定の卒業期の同 でほとんどまかなわれていま が財政を苦しくしているので りません。一部に会報の製作

数をふやしたり、料金の小規 告もスペースをつめて掲載件 一号約千三百部が贈呈されてお

重な消息です。母校および故

少なくなかったのです。役員

は左上の「会報の限定配送

右が基本です。詳しい嬰鋼

止する。 送し、不納会員には郵送を停 数を納入した会員に限って郵 会報配送、次号から変更

ねて参りましたが、年会費納入の不振から事態は好転せず、遂に幹事 は支部の財政問題であります。数年前よりこれを打開すべく努力を重 に不安をすら抱かせるものがあります。その不安の最大のもの、それ の拡大にくらべて内容は決して充実しているとは言えず、むしろ前途

るところをご理解いただき、一段のご協力をお願い致します

会員だけに送付いたします。誠に遺憾ではありますが、どう むにやまれぬ気持からこの号外発行にふみ切りました。号外

が意のあ はむろん

こに至った事 定させて頂き が、次号からはその郵送を限 会報の発行はむろん続けます るとのお きた会報の全員配送を停止す りません。 いぜんさした 全会員に訴えるアピールであ 政事情にか 子。以下事 っであります。 五年間続けて がみ、改めて しようとする 一分外は、 向上を見てお

は別に支部会計を圧迫してお の製作費でありますが、これ いちばん大きなものは、会館 支部が支出する金のうち、

欠かさず発行され、今回で第 30号となりました。この間会

向上せしめよ、そのためには

職員および在校生にあてて毎 員にはすべて郵送されてきま 支部に登録されている支部会 費納入の有無にかかわらず、 また、会員以外にも母校教

年間運営するには極めて苦し の実収です。これは支部を一 ります。千人では百五十万円 費は一年につき千五百円であ 納めていないのです。現在会 であります。五人に一人しか めない――これが支部の実情 になります。これがここ数年 数納入者は千人前後しか見込 て、はじめて各年度の納入者一ているかと言えば、それは年 会員五千に対して確実な会 をはかってきました。

い金額であります。

広告料でペイ 会報の製作費は

十五年間にわたり、毎年二回 総会で発行が決議され、以来 | をつなぐ大切なきずなの役割 会報は昭和四十四年第八回 | り、支部と母校と後輩諸君と | 郷の近況はこの紙面以外には 部を印刷しております。 を果してきました。現在七千

ースは、なつかしい旧友の貴 かれる各期毎の同期会のニュ 知らせは会報の紙面を唯一の す。毎年一回の年次総会のお 重な情報が満載されておりま 手段としております。随時開 会報には同窓生にとって遺 なりました。 ることはできなくなりまし 知らせてくれるものがありま な経費減をはかるのが急務と た。配送部数を溶とし、確実 せん。 急な実施を強く求める意見も 数年前から論議され、その早 情では、もう全直配送を続け 実はしのことは

て従来通り全員に送る。

一、次回三十一号以降は全 一、今三十号は予告を兼わ で、具体的にはつぎのように は会報を送らないということ りました。幹事会決定は、 すら会費納入の向上を願っ するに会費を納めない会員 の猶予が許されない状況にな きましたが、もはやこれ以 ら断ち切るに忍びなく、ひち 数会員を会報の伝える情報が 光びに幹事会は何としても名

年間にわたり支部長の席を汚して参りました。この間情さま できませんでした。深く反省致しておりますが、任期終 含む

重大な

訴えを

せざる

を得ない

ことに

なりました。

不肖 会の職を経てここに美芸員五千人の諸氏に対し『会報』の限 かえ、このままの形で次期役員に引き継ぐのは誠に申し こ鞭撻を得て努力致しましたものの、健全財政の確立には 表明年にひ 至ることが なくや 作乱送を ご婚男 要 度分については新たに一二三一 す。これまでの実績から推し が千人になるわけでありま 同じく五九一人の納入者を得

ろうと考えられます。 では千人前後に過ぎないであ 度の納入総人員は、このまま て、恐らく五十八、五十九年

的物価の高騰には追いつけぬ しかし、それでも昨今の一般 会費も値上げいたしました。 切手代は各会員の負担とし、 約のため出欠通知のハガキの ります。これも今年からは節 ど一切の準備経費を含んでお 欠通知のハガキ代、印刷代な す。これには会場費のほか出 十万円前後に達しておりま

上、若い同愿生の会費を低額一切りつめられない額です。内一同窓会を名乗り会員五千を捕 なります。これはどうにも 年間で九十万円という巨額に が、これが毎回約四十五万、

> あります。 というのが私の切なる願い

模な改正を行ったらして増収

であります。 次大会の補助と会報の発送費 では何が支部財政を圧迫し 年次大会の開催費

実情です。また幹事会につい

ては、数年来補助金をほとん

って差はありますが、毎回五 年次大会の補助金は年によ す。忙しい中で支部に尽力し て下さる幹事諸氏に対し、役 で出席していただいておりま ど停止し、幹事は手弁当の形

で一十万円です。

自の負担、つまりボランティ

員として誠に心苦しく、いき が生じつつあります。 支部運営に影響を及ぼす恐れ おい会合もひかえ目になり、 巨額な会報配送費

つぎに会報の発送費です 営は極めて苦しくなります。 支部も、伝統ある上田高校

ん。これでは支部の満足な運 はわずか十万円にすぎませ 百四十万円になります。残額 めても年間の個定支出合計は 補助を五十万円以下に切りつ 幹事会補助をゼロにし、大会 こうして数え上げますと、 残りは僅か十万円

に続く諸君の労を軽減した。 入の確実な増収をはかり、 ん。何とかしてこの際会費収 ひろがっているとは言えませ 甘んずる有志会員も、無限 えません。喜んで自己犠牲に のが現状であります。 ア活動にたよらざるを得ない これは明らかに健全とは言

にして出席しやすいように配 以上の節減はむずかしいのが させております関係で、これ 慮し、ルーキー招待制も定着 をこえています。やむなくこ 有志同窓生の労力奉仕の限界 す。五千部ともなりますと、 モロにかぶっております。 ますので、郵便料の値上げを せん。通常の封書扱いになり 種郵便物の認可は受けられま が一人七〇円なので、三十五訳は五千人の会員への郵送代 ます。年一回の発行では第二 月、二回で七十万円に達し 加えて発送経費がありま

などを含めて約十万円、二回 こちらで用意して渡す封筒代 業者を利用しておりますが、 こ数回は専門の発送引き受け 足代などの出費はすべてが多 資格と任務の下に動く諸君の ません。支部のために、その はとてもまかなうことはでき す。これらすべてを十万円 めの最低の必要経費もあり 紙代など、組織を維持するた 局の維持、所要の文房具、用 加などもあります。また事務 窓会どの連絡、諸会議への参 は欠かせません。また本部回 同窓会との通常のおつきあ 高をはじめとする友誼諸高校 同東信連合会、県人会、 県下高校同窓会連合会、

支部

一発 行 所一 上田高等学校同窓会 関東支部・事務局 発行人

を 支部長 矢馬瓦郎(31) 支部長 矢馬瓦郎(31) 会報委員長清水規卯(38) 〒336 埼玉県川口市並木 2 -11 - 20矢岛跨工郷内 電話 0482 - 53 - 2662代

題字は故稲垣征夫氏(14

12月1日

(木曜日)

昭和58年 (1983年)

武務局に登録の会員は五千人の大台に迫り、その連営に熱心に協力す 唯立をみてよりここに四半世紀、 満二十五年の歳月を経ました。いま | 名明代表幹事も百数十人、支部はいよいよ降盛に向う形を示してお

こしかしく

残念ながらひとたびその実態に目を転ずれば、規模

上田高校同窓会関東支部は昭和三十三年第一回大会を開いて組織の

する以上、交際費も必要

沢伝60>田口喜一郎85▽塚田

崎渉70>安居院実員>山浦健 64〉矢島五郎60〉柳沢次郎60 男的〉容入秀夫多〉官报三古 60~清水繁春50~玉井康音58 長85▽小宮山王三65▽小山

村武敏55〇久保田允55〇神津 35期 石井暢多〇石倉謙一58 58▽宮沢美智雄57▽柳沢太郎

/小宮山隆三58▽佐藤

48期

人的 一 并 前

51期 武井原57小林志郎57

下善郎60~柳沢浩二58~山岸

一井沢做5▽伊藤文明58▽奥村

治50~田中学60

□57▽柳沢洋一62▽桜井丈夫

▽宇野智50▽大井卓雄67▽北 ▽真峰秀維50▽椭関真盛57

班明50~西次倍50~思地武57

小山正徳55▽坂田隆雄60▽滝 | ▽柳達雄64▽米山正次55▽山

小泉表5▽後藤宮平55▽

上田政男6/全島的西

後廢政一85▽鈴木孝57▽高

野重徳60~加藤三郎64~後藤 58〉荒井功57〉石井盛57〉宇 31期 赤沿進四60▽赤沿唁人 柳沢胖55▽柳田茂雄55▽山岸

平64>後藤聖57>沢田光雄

見沢正60▽土屋信夫90▽鴇沢 野寫士夫8▽高橋五六5▽高 砂田昌寿8~高木勝號50 ▽島津俊治55▽清水好夫60▽ 34期 神田精史8▽工商裁治 62〉古田竜 | 58〉佐藤三義67 巌85▽宮沢卓司85▽浜村恒雄 本利政800原田親貞570比留 西沢一恵57▽朝日仁一58▽橋 ▽土屋利一50~中沢苑太80~

雌

田中康雄50▽塚田祐三57▽古 高木弘行60~滴沢得一郎50~

石井綫維行〉児玉見行

商沢中5€~宮岡秀6€~茂木清

一65〉渡辺嘉博58〉朝倉保

58▽小林重昌58▽桜井喧人58

55▽小林直樹60▽清水幾男60

阿曾英二58~牛木睦宮

▽清水則夫58▽白井広重58▽

大田道維8~小山克一50~

石井操60~石川秀敏59

55▽宮下武平57▽柳沢厚55▽

正樹58▽曲尾清58▽峰村文人 西沢秀晓2▽原相模6▽針塚

個口格55公二并良裁57 58▽桑原元吉57▽甲田装貨62 班8▽木村末武5▽桑原民 2期 青柳忠三郎58▽市川善 次班50~所与图平57

山朝政80人小山正维50

又57▽柳沢晋一郎57▽依田赴

仗約▽吉池县三80▽横山六郎 勝之助57~二井忠直58~



上程しご審議をいただきます。

>石井満明65>岩田光弘85>

そこですべてを総合し、改めて全名詞として作成しました。 そこに明記された期間内に納入された会員のための。領収書。で、それ以前に多年度を 括納入されている会員の氏名はすでにその都度発表ずみのため含まれておりません。 昭和57年度分以降の会費を納入された会員の全名簿です。会報30号7面所載の名簿は 、56年度分を含むそれ以前で納入が絶えている会員はすべて省いてあります。これ 、氏名の下の数字は年度です。その年度分まで納入されていることを示します。

入を進めていただきたいと存じます いすることになったためです。 一、自分の氏名の有無を確かめ、一面左上の"ご注意"をごらんの上、一日も早く納

は56年度分以前の分は納入の如何にかかわらず不間に付し、57年度分からの納入をお順

したら事務局へお知らせ下さい 一、今回のお願いの結果を含めた詳しい会計報告並びに新年度予算案は明年の総会に 、調査は事務局保存の資料によって万全を期しましたが、不審な点や洩れがありま

大石裕丈58▽大津義雄57▽荻 | 沢正58▽花岡倩58▽堀内功58 | 34期 浅井敦60>池島雄三58 | 鞍仲58>渋迟元則60>白鳥縣 | 亨61>松尾鹏人60>矢島良衛 58>城田賢6>関輝雄6>滝 59>横関嘉伸5>出浦新一58 渋沢芳三5%

雄60>山岸正喜60>柳沢邦人 | 58>掛川重義58>北村秀夫57 ▽松島久61>小林正登55。 下村達男55▽関邦雄55▽田中 62〉内田里喜58〉麻見和泉60 人800宮下春三570武緒久男 |小宮山鉄雄5♡清水谷孝尚61 37期 新井邦夫62~岩田茂樹 安児夫8▽松野正88▽丸山英 | 57▽斉藤好 | 58▽川尻悦三61 村和義60~半田孝康57~深井 織沢克己60>田中良夫60>田 ▽土藤茂芳6▽小松穀衛65▽ 博美61▽尾崎毅60▽皆藤義久 36期 伊藤東四次郎65~岡本 ▽坂本史郎55▽清水志郎55▽ ▽神野勝男6▽高遊弥六8▽ ▽清水栄一58▽正村吉徳58▽ 4期 飯塚哲夫57~生鳥信夫 士夫8 金三55>白鳥武8 正治55▽山本周三65▽佐藤富 田節生80~渡辺久維80~池田 ▽柳沢澄男5▽柳沢晴夫8▽ | 68||| 森山博司60||| 矢島信一59 愈57>田玉清次55▽丸山英一 谷選孝60~高橋一行80~宮本 彰85▽保利徳彦8▽高森淳6 土屋始85>中沢金一85>古松 田口善孝の〉田中甲子雄57 吉池一郎80/清水恭平80/吉 显现一十二类80年三 >田中稔省55▽成沢淳55▽古 60~木村忠朝日 ▽渡辺剛志57

19期 保坂政治60

60~笠原文雄50~鎌原義則58

善一57▽宮崎光邦8▽村上寅

60〉亩北80个市山三男60~

一58▽福島軍次60▽土屋勉57

| 水科正55▽水野利男65▽宮川 50~外山正牌50~中村礼三60 平60~高橋亮吉60~遠山忠雄

男57▽芹沢守利60▽高見沢澄

野左中6♥清水信60♥杉浦秀 | ▽耷輪孝尚8♥| 宮坂四錐88♥ | 4期 石木林60▼| 今井甲子錐

辺達也50>塩入重雄50>白井 | ▽荻原飯50>児玉安彦60>小

柳沢義房85▽山崎行則57>渡 00>井本公一85>上野豊重57

速雄60▽竹下栄昌50▽堀内啓

林郷司55~小林政治52~小山

原英勝57▽別所洋網65▽町田

57〉飯塚茂男88▽五十嵐八郎

忠久58▽若林泰三58▽山 沢慶二郎85▽平島実85▽松平

横田栄一郎57

谷進司55▽小林政家55▽小山 石塚一重58▽香掛友彦58▽熊 島田次郎55▽土屋漏64▽西

30期 幽野忠 58▽赤松遍58 58 公川善 57 一尚久58▽武藤矩崎58▽森四郎

▽荒井正善55▽池内芳茂55▽

▽神津源一57▽小松夏雄55▽ 55>五十編正人55>加藤鉄司 小林元仲6○近藤貞58 田口球司55▽吉井道教

|鹿50▽東東竜夫57▽大森帽

57〉田中有一多一中村常植57

>成沢省三58▽南波武英58▽

四金維5℃弘世弘信50℃保料

堀内飯雄57▽古畑徳宝8▽柳

平69年出出人58 田誠85▽横田地弘85▽浅野恭 滕平5℃永田末吉5℃根津勇

58▽八田秀61▽原田安雄85▽

太郎60~関啓一50~田口真六 時之助57▽斎藤荷50▽塩沢丑

> 500位的第50十星三月60 木真二58▽関鍼57▽滝沢昌一 佐藤次男58▽椎塚三夫58▽鈴 58▽川崎高久治58▽北沢茂59 33期 荒井和夫58▽飯島力夫 柳沢泉8▽笹川徴60▽永井装

| 今井光男58▽小林孝維59▽佐 60〉依田和俊50〉大川英夫58 ▽横山越之助60>横山十四男 58▽飯島淑男60▽岩下実55▽ 42期 石井學之助60〉栗田裕 樹60~村山第80~横田種錐6 **里弘60〉橋本英典60▽宮坂民** 棚館市58√流沢文男57√永井 府以見61~高里佐大夫6 夫50▽浅野敏正50▽青山幸夫 58~丸山栄一 58▽大川悦生8▽加藤文郎60 在业级公高見 61〉佐藤一郎50 佐藤高65〉 和整80个出 宫栄市85▽斉二元戦85▽小山 58▽井出馬利の 沢丈夫57~十 ▽ 学家の と ≥三井芳郎61

貞利60▽林克己58▽松井正直 | 秀男60▽宮原敦58▽森秀一郎 | 55▽矢島勇雄60▽由井虎史58 ▽竹中幸意8>由中幸意60> 58〉察出朝58〉志丰田淵顋58 中曾根芳正80次在第一57 谷福良55▽水野亀雄55▽峯村 39期 大塚唯男55~小木曽学 一松井明57〉松園裕62▽向山光 58~中林山多~保利大指60 50公学大吉57小林拓也57 43期 伊藤善行57 上野飯雄 水哲夫60~土屋功50~中次信 小山栄治8▽小山久之8▽清 ▽大端裔夫98 ▽小林朝衛85▽小林美彦95▽ に誤入した) 鈴木照明60 58 (会報30号

58~若林章八50~金井忠義58

有類温60~宮原泰財5

44-5期 深井 5万√飯島久生前。 土屋差7。 58▽児玉喜年63 5万公須田公三57 節85▽小山久治の一斉際公舅 雞8▽黒岩喜四 44 4期 井出 石井克巳55~四 都58▽柳沢広57 清水茂行85~竹林数57~中島 | 寬文85 | 春原寛63 ○田中克巳 58▽久保田勝井 和夫50~顧朋佐 繁基8~北沢守 野り児玉志 大行〉茶祭 職株太郎58▽ 人塚五60 欠58▽牧内 昭三58>土一夫51>佐藤尚58>三浦幸雄58 高木通安58 篠原保85~| 富士雄55~小林芳彦57~酒井

▽堀内茂雄8~松山史郎90~ 沢浦史80~矢幅 条村昭三88▽宮 肥幹夫80>中村 ▽竹内秀彦50○ 同60~市村進2 男57 西巻浩8 60 58 60~山極栄 **丰塚栄三郎** 京野賢造8 49期 安部季55▽芦田純55▽ 吾57▽中井信夫57▽宮島勲

神林常視66▽中田礼治59▽塩 | 芳造59▽牧内裕58▽宮坂博60 46期 有坂元秀町〉有資治60 据5℃森茂60 57〉富岡輝 | 59 45期 児玉和門 ▽飯島俊一58▽伊藤茂久60▽ 宮沢栄 57▽ 日田今朝雄60 育教美50 プカ57 マ高勝 ○ 容原新作 財府茂55~ 重夫61>中山典之61>原猛57 阿桜60>鶴見慎一郎50>中沢 雄55▽関根伸一55▽滝沢朗58 夫8℃小林斉之介60℃城下幸 藤毅57〉北沢昌永61〉久保利 ▽原行明55▽藤原実55▽前田 池田芳彦85~岩崎泰衛55~加 淹沢栄55▽淹沢茂夫55▽竜

敦美50▽筑士※ 沢昭一5♡清水を節6▽滝沢 4期 花村野 信60~常田英語 川真燈的/金子 横田亮一60~3 寿夫60~佐藤 **※60**≥三井周 公元大58▽ 关 | 木正治55 | 山浦健造58 | 石塚 |▽石井智巌85>岩瀬一夫85 58~飯島圭一57~大塚文芳8 50期 小林貫一57>安廢信穀 民雄5▽小林喜六8 上野貞夫8〉清水茂雄60〉鈴 ▽金井忠雄85>木内宏一65> 山岸万亀男55▽依田郁男59

上精發夫80人水 第一63~高見 で55▽田沢徹 山岩正版80 沢季輔85▽瀬 決和範85▽清一介55▽小山洋之助60▽酒井康 極通男行〉───山州公夫の〉山内市昭の〉 三精察治60 山江一50>大熊和夫60>神 57~小宫山第58~水野智雄59 原省三60~伊藤澄夫57~小野 60〉宮入明維57〉宮本嘉与60 敏幸6○前田一人6○零川助 新美毅85▽林乙司55▽▽藤城 58~富永馨8~新坂英行80~ 58>竹内啓爾64>戸部登喜一 裕52人小川正明58~高島通敏 泉悦也80小营館57小山邦 北川嘉一80~久保田襄80~小 田育也50~小林乾泰60~清水 ▽大塚教夫55▽小野沢光矩60 5朔 井青人红〉 信久行 ▽竹鼻率男60~山口直枝80~ ▽川村作子80〜小出武80〜申

57〉高柳霞樹58〉竹内一夫8 清水卓85▽田原敬85▽清水真 児玉和男易▽小林淳一郎57▽ ▽宮沢英人50▽相田俊一80▽ 沢側55▽山崎延秋55▽岩空秀 宮山栄 | 58▽村上信 | 58▽柳 夫57〉堀内惇60〉牧内清60〉 寺沢明80~中沢清男80~中沢 ▽竹内製広57▽竹内元率58▽ 山博光85~小林和夫85~小林 ▽浦田光雄55▽小木曾誠55▽ 松本守弘57~宮崎恵二鹿57~ 利雄55▽中村哲治55▽西沢章

井出英三郎85~上原英一55~ 57〉飯塚麦55〉市川廳伍55〉

木村和幸5▽清水武雄5▽清

59▽羽毛田信60▽黒沢博身60

59〉滴沢格59〉田口修三郎68 滴沢利明5℃関秀徳6℃関正 ▽小林孝典60▽小林森男58▽ ▽飯塚和男50▽掛川十次郎59 58▽石井正営8▽伊藤裕幸8 52期 池内修85▽生駒利行 57〉中山隆雄57〉原田政美57 慶和57▽桃井締60▽平尾恵広 淹沢英彦63~宮川司59~塩沢 六川一郎8℃和歌月和敏5℃ ▽三木勲50~宮崎一九雄50 57〉鎌野秀嗣57〉久保田豁60 利55▽園木元徳55▽高松健治 北村英雄57~池田寛三57

宮士班5~青柳立秋男6 棋司57〉新保知右喜55〉水沢 林武彦8℃佐藤雄三6℃小島 久保治良8~古平伸吾8~小 60〉掛川正司85〉川島墳55〉 58▽柳沢忠5▽阿部三郎58▽ 尚男88▽矢部信8▽柳沢孝宣 島元喜57▽松沢秀雄50▽宮島 浜村好宏50>堀口孝久50>町 塚田進一8▽橋詰今朝男50▽ 石合正和88〉矢島寛文88〉古 一60>本田忠62>松崎義一 林宽55〉馬場健一55〉藤田昌 59~竹内昭57~竹内山次57~ 秀明60~白倉憲二56~箱島郡 二58▽小島吉舅58▽高木佳年 恒雄80~小泉義勝80~小林克 川章夫85~川上曹元55~秦頃 ▽和田日出光8▽赤尾睦男58 60▽望月英明58▽横沢武久58 神田野50~神材英里55~緯時 62〉上原宏8〉片榈康男60〉 57期 飯島辰夫57▽池田教館 ▽有井穀8▽碓氷栄一60▽岡

藤森普也85~宫沢良和60~宮 宮下秀久86~山極邦一郎57~ 60>高木快雄57▽塚田靖66> ▽杉浦晧充58▽丰塚洋兵58> 型57~清水公655~須田武久一55期 伊脚孝57~小村総正60 55~山崎紀典55~吾妻仲夫57 一夫55▽宮坂幸雄55▽若林紀太 |茂55>前田由美子55▽三井宣 ▽土屋典久57 賀猛50~内川栄久58~一潮清 崎直木60>大日向重徳58>有 ▽小山昌飛び〜中村豊け〜山 64期 浅井康彦57▽岩崎民雄 条和祥800成迟二雄8 中山和意8~川村裁司8~上

58▽岩井昭広55▽伊藤正明58 ▽掛川国雄60▽倉沢直哉60▽ 小林益太红〉小林覧三红〉竹 ▽柳沢五郎57>山岸禄生57> 栄8▽丸山瑛一62▽村田第58 利勝80~堀内照維50~堀内弘 沢哲夫55▽廢森久男57▽保坂 原隆雄587上間利夫577小野和田健台577山本忠高577上 夫57▽永井洋司60▽柳沢暁57 内芳德57〉西沢毅50~小林丈 塩崎東男55◇竹内三男60◇竹 山本晏久57▽六川博輔60▽ 54期 柳沢明50>横関稚徳5 二60/金子節子62/若林清和 慶次郎55▽芹沢袈裟三55▽中 清水敏夫8 58▽松沢宏57▽坂口茂広57▽ 一夫9▽渡辺百枝57▽大久保

哲57▽有貿秀雄59▽飯島英美 正範57~荒井信明55~浅野井 沢誠司55▽花岡利男55▽早川 中次良行57~中島通明58~成 55期 内堀真通彦58~ 極野達 ▽寺島国夫50~田村忠男86~ 明50~下村優級57~関礼二57 内克好57▽清水順57▽清水英 >竹内孝夫55℃電野現介55℃ 三58>間島酸57>草間和子62 彦57▽中村今朝美57▽中村省 村明郎57 篠原元司60▽吉池昭夫50▽田 58~宮本昌典59~柳沢畑57~ ▽浜村希志夫80~久昌貴代 58▽橋田ちせ6▽馬場武彦62 晃一58▽土屋賃55▽成田崇宏 林干城80~流沢義信50~土屋 ▽安斉忠恭57~上野量治8~ ▽石原登江90~小川宏80~小

上原昂55〇白田稔55〇大平担 58~小平節夫50~柳沢鞍率58 藤英和55◇瀬下正利55◇田代 武500中村勉600四島幹夫59 60〉上原清治50〉大塚明彦65 56期 飯高盛竜60~赤尾信吉 大50~土屋英町57 之85▽宮入健二郎85▽商沢勇 正統80~堀内良幸50~宮下衛 適明55▽成沢祐介62▽長谷川 水好昭55▽塚田忠夫65▽長峯 和美57~山口周57~古池湖允 小宮山栄8~笹沢政道50~佐 小山狂司55〉神津進60〉竹内 ▽風間英信50~小林英郷60~ ▽橋詰近佳55▽水島昭一55▽ 科井弘55▽藤原鎌之59

明50~柳沢直省50~高沢博行 英孝57〉荻原英男58~森田英 中县樹57~丸山久勝57~北原 弘85〜畑戦57〜服部与治55〜 井透57▽沿形處枝57▽橋本隆 ▽甲田健60▽駒村宏一60▽白 雄55▽斉藤益人55▽戸塚武雄 6期 今井勇雄55〇白田久米 男50◇藤井彰60◇宮本忠昭57 應司60▽水出清仁50▽水野敏 田武彦50〉清水候博60~下村 60▽藤原秀臣6▽宮沢靖夫57 57〉荻原清人8~泉谷川久二 村功57~関和明50~新津敬治 59期 甘利武司55▽池田惣計 原清甲58

▽香掛忠5▽高橋宗雄5▽玉 6期 井上希代子80>川合置 ▽唐沢重維85▽滝沢淳60▽田 62期 荻原明55▽荻原英人57 58~大谷高義6~森原隆治58 聯8▽小山高8▽関勝男55▽ 木純雄6~大浜義隆5~吉沃

57〉柏森为子57 |島善光55>中野敬三60>中村 ▽山本寿美子9▽市村宮男57 61〉高柳博幸60〉武井長久60 60~小遊一路50~高見光治 63期 西沢信平80 大井俊彦 男多〉渡辺幸治60~片山路 勇80>岩井里一60>片山登喜 房子8▽依田欣五郎60▽秋田

沢曜二郎60 以上

三57〉林嘉市59〉堀内昭57〉 溜沢一彦57▽寺島紘士58▽中 ○松井無 60~品 9 57 昌機57▽片岡春雄58▽鎌原昭 治60>後藤史郎60▽小林俊雄 島秀忠61>波田野浩55>林洋 報地學表行〉中決等行〉 58~村井帕一60~安田務8 知57〉原田翁則57〉宮川恵 膝博5▽高藤俊夫8▽中村 58~倉沢斉5~笹川光5~ 65期 北沢光二57~横関洋

塩博史57~荒井秀人58~五 ▽田口博57〜深田茂50▽平 郷子57▽荻原隆58▽関口信 66期 大井建夫58▽片山発 敬夫58 成基57~折井正牌60~関和 >関申一多>田中富昭60

60~加藤高57~佐藤章57~田

67 103 荒井則雄57~竹内俊隆57 ▽杉本真理子8▽土屋光博 60~宮崎直之55~小林照明 68期 松井啓一572松山研 57小林正文57 坂口公一61▽宮坂隆

石塚洋一6~車原正治5~柴 ▽山口元章8▽浦原則夫8▽

和較60 鳥羽喜幸95>山極道生85▽ ▽小市章羊8▽吉村邦高95 58〉廢谷芳子80~古畑喜己 代80~下村文彦50~鈴木賢 69期 池田泰子80~太田喜 芹沢一雄57 伏見到幸5小林一輝

贈日久人57〉由中誠一58〉田

77期 74期 間宮利之57▽坂田に 高橋あゆみ60▽坂口

島英紀58▽井上剛58▽大井剛 51>中村美咲子57>山浦 高山時登57~確決雅男57~宮 78期 小山哲生57~宮岡雅 55~斉藤由美子55~加藤敬 57〉片岡千時60〉佐駿盟之 60~小林宏子57

57~小林裕子57~淵田栄治 79期 获原悦夫55▽获原敏 ▽鶴殿理枝50▽松崎実57 由美50▽増田則夫57▽橋口芸

美57▽周場隆之57▽清水幸 浅田和樹52~小泉城衛50 長井喜久子8~池田俊明59 ▽木内利彦57▽黒坂聡介57 田有一50~田中宏60~若林

▽笠Ⅲ公園85~木村公平85~ 57~若林泰美57~生田淳一 ▽清水茂夫8~塩島巳季57 60〉由沢理恵57〉久保田浩 8期 端沢将生57 山崎敏 須田貴苗57~山標昌一69

一三一名